

明日にむかって

～ 20周年記念誌 ～

障害者の働く場

ひらの作業所

目 次

二十周年を迎えて・・・・・・・・・・	1
二十年の歩み・・・・・・・・・・	3
施設概要・・・・・・・・・・	47
日中活動紹介・・・・・・・・・・	53
メッセージ・・・・・・・・・・	65
編集後記・・・・・・・・・・	76

20周年を迎えて

障害者の働く場 ひらの作業所

所長 保田八十次

障害者の働く場ひらの作業所が発足し20年を迎えました。これもひとえに地域の皆様をはじめ、行政・関係諸機関の暖かいご理解とご支援のおかげでございます。心より厚くお礼申し上げます。

当時、障害があるが為に就職も出来ず友達との輪もなく在宅しかなかった人達の為に、障害のある子供を持つ親たちが集まり、作業所作りに取り組みました。通所者5名と指導員1名で文化住宅から始めたものの、運営資金はなく親たちは資金作りのため必死になり、バザーや古新聞の回収などで資金集めをしました。頑張った甲斐があり作業所も少し安定してきた時、思いもかけない火災に遭い全焼してしまいました。その時も多くの人々から励まされ、暖かい御支援を受け再建させて頂く事となり現在に至っております。本当に有難うございました。

ところで20年が経った今、社会福祉基礎構造改革が打ち出されました。あらゆる福祉の面でこれまでの方式を改められようとしております。人々には不安と混乱する中、改革と前進への期待も持たせております。私たちはこの時代をどのように受け止め、何に立ち向かっていくか、まさに私達の主体性の確立と決断と、何より将来への洞察力が求められています。20年前に比べれば、日中活動の場としての作業所も、色々なメニューでそれなりの対応も出来る様になり安定しました。その頃には親も子も歳をとりました、頑張り抜いた親子に、次の生活支援をしていく事が必要となってきております。まだまだ作業所の果たす役割は大きく、作業所としてよりいっそう質の高いサービスを提供出来るように頑張っておりますし、これからも努力してまいります。今後とも皆様方の変わらぬ御支援をよろしくお願い申し上げます。

明日にむかって

第20巻・第10号(No.228)

編集・発行人 障害者の働く場・05の作業所 〒547-0031 大阪市平野区平野南3-11-35 ■FAX (06)6799-1065 郵便局口座 00940-9-72552 社人 畑 八枝

今年もあと、2ヶ月とちょっととなりましたね。年々季節の変わりめがずれているようで、9月の中旬になって朝晩がだいぶ涼しくなり、10月の中旬を過ぎた頃になってやっと秋らしくなったような気がしてきましたね。ここのところ各地で天災がおきて大きな被害を受けているようで、この先どうなるのかと心配になります。いつ、自分達の街にも災難がふりかかるかもしれない世の中ですね。

さて、秋になると行事が増えひとつひとつの行事を楽しみにしているなかまもいます。夏の疲れがでて体調を崩さないようにこの秋を楽しみたいと思います。

1990年2月8日第三種郵便認可 明日にむかって10月号 2000.10.25(朝1日25日新・1日10円・年120円)

2000年

宿泊訓練

今年は、10月8(日)・9(月)・10(火)の三日間で宿泊を行いました。宿泊先は大阪市此花区にある『アミティ 多摩川』でした。いつもお世話になっている場所なので、勝手したる我が家みたいで皆んな動き回っていました...



3日間のスケジュールは...

【8日(日)】

9:30 いつもの時間の登所
12:00 作業所で昼食(おしゃべり...)
13:00 作業所出発!
14:00 アミティ舞洲到着
アミティ舞洲スポーツセンターにて
スポーツ活動

18:00 夕食
19:00 交流会(アミティ舞洲のワグワグ)
ボーリング大会!!皆、高得点をだ
していました。
20:30 入浴
22:00 就寝

【9日(月)】

7:00 起床
8:00 朝食
9:30 グループ行動
4つのグループに分かれて天王寺や

18:00 夕食

19:00 交流会
昼から帰っていた雨も止み、花火大会
会決行。たくさんの手持ち花火を燃
えました。

20:30 入浴
22:00 就寝

【10日(火)】

7:00 起床
8:00 朝食
9:30 創作活動(アミティ舞洲にて)
ペットボトルを使って、楽器作りでした。作っ
た楽器を鳴らしながら、カラオケタイムとなり
ました。
12:00 昼食(アミティ舞洲のワグワグ)
14:00 アミティ舞洲出発
16:00 作業所解散

こうやって、2泊3日の宿泊を無事終えま
した。



毎月28日は

全興寺出店日

保護者の手作り品を中心に衣料なども
販売しております。
平野区平野本町4-12-21
全興寺にて

11月のカレンダー

1日(水) 保護者手作り(予定)
11日(土) 育成会全国大会 in 奈良
代休
13日(月) 市育成会舞洲運動会
17日(金) 創作活動
18日(土) 日曜作業所
19日(日) 常盤会短期大学学園祭出店
障害者登山
20日(月) 代休
25日(土) 休所日
28日(火) 全興寺出店
*22日は「レレレ」の「お祭り」もあつたよ

なかまの作業も順調です。作業の種類も変わらず、ポピープロダクツさんのプラスチック製品のシール貼りや袋入れや箱入れの仕事は、お蔭様でまんべんなくいただいています。有り難いことです。!!

他に橋金属さんからもカーテンレールの組み立ての仕事をお願いしています。この仕事が好きで仕事をいただいたら、喜んで一人張り切ってやっているなかまがいます。このなかまにとっては、かけがえのない仕事なので、途切れないように祈ってます。一人でやっている仕事と言えば徳野商会さんの軍手の袋入れの仕事です。急ぎの仕事ではないのでゆっくりとマイペースでしています。

最後にアンブレラネイルの釘さしの仕事です。この仕事は大和産商さんからいただいています。この作業は多数のなかまが参加できるものですが、小さい穴に釘をさすのが難しいようです。

あっ、それと空き缶つぶしの作業も忘れてはいけませんね。空き缶つぶし機を使って手でするのですが、腕の力がいるようです。潰した空き缶は、環境事業局に持って行って図書券に変わる重要な仕事なのです。それに潰した空き缶を自動車で持って行くのに一緒について行くのを楽しみにしているなかまがたくさんいて、たまに乗りたくても乗れない事もあるぐらいです。

こうして、たくさんの業者さんのお蔭でなかまの仕事が続けられています。本当に心より感謝しております。

20年の歩み

(1980 ~ 2000)

	行 事	事業活動	対 外
5	24 開所式	廃品回収	
6		廃品回収	
7		廃品回収	28~ 実習受入れ開始
8	4 海水浴	廃品回収	
9		7 廃品回収 23 区民まつり出店	
10		廃品回収 19 チャリティバザー	
11		廃品回収	
12		廃品回収	
1	~7 冬休み	18 廃品回収	
2	22 障作連 なかまのつどい	8 廃品回収	
3		1 廃品回収 29 チャリティバザー	

楽しかった - 海水浴

なりましたら

海・祭りが、たまたまに
こうきい。(一ヶ月過ぎた
今でも中あひと井さんは、
つぶやいています。)

・北のあきさんげ、おんほ
およいだとうれしそうに舞
ぶりを示してくれました。
・大村頭さんは、普通話ア
40分お話し、たまげく。
・バナーと海へお参りして
マロニエと三つは

海ははじめてのこと

お参りといえどもお参りは、まことにまじった海水浴
に作業者の仲間たちも参加しました。8月4日の
朝、バスにゆられゆられて柏根山の加入温泉まで
バス一本ではのりきかせ、夜間からマイクロボスの
応援もあつて、楽しいひとときをすごすことがこ
ろできました。生まれて、はじめて、という仲
間は、いこ、まごのし、海もようさんだ、をしよう。

まじも運を楽しくか、た
をしようが、親の方も毎
日のきつさしはうくの朋
たゆることびをきました。
(北口、母)

十年以上も海水浴に行
ったことばなひ、たけれ
び、本当に楽しひ、にで
す。天気が良ければ私も
およいだお参りが、た。
(中野、母)

明日にあたって

ひらの共同作業所ニュース(2)

大坂府平野区豊島4丁目3番13号 北野文化

代表 高橋 典子

06 (1199) 1065

開所一ヶ月

作業所報告(友成記)

どんどん明るくを増した

なかまたち

ク人になった仲間

から、毎日、作業所にいきたくてという仲間の、ぬい、に、6月3日ゆうなんとすこたえうことびでささううにになりました。

なかまたちは...

最初、毎日通所が、負担に、な、たのかん名はカゼが長びさる週間、Fさんは足の豆がつぎれ/週間、Kさんは叔れがでて4日間休む、というふうな状態も生まれました。

しかし、このような状態の中をむいさんは、ぐんぐん明るくを加え仲間の指導(生活あそび・作業)がでさうようになり、指導グループでは仲間よりの指導員補佐が誕生したと喜んでいきます。



日々や一ヶ月すぎ... 広いセンターハイムの押しハブ教室から、産むない狭い文化住宅の一階にうつり、あわただしい中を早やひと月がすぎました。

通所は、保護者の送迎で、食事の改善からむ給食は仲間の奨励もかねて、「保護者会」が交代ですることにになりました。

作業もふえました。

バガーのとまだけれる花タクバサミの組み立てだけで、は、仲間の、張り合い、もな、く、資金も払えない状態です。この問題を解決に、「すみれ、ひかり」両共同作業所からの御支援で、「スタッフル組みたて」と「アリススマス用途花の組みたて」の作業を加えうことびできました。

このようび、保護者、関係者一同の努力で、週一回評判

6月23日より、大さび大さな、中島ひとみ、さん(22せ)が加わりました。

仲間7名もいちだんとさめがしく、明るくを増しながら毎日作業にはげんでいます。

キヤリティーバガー%

御協力ありがとうございました

ごさいました

藤野おなさん

ひらの共同作業所キヤリティーバガーに御協力ありがとうございました。うごさいました。おかげさまで、100世帯をこえるり、商店街連盟や団地自治会、町会、各種団体、事業所のりまごらの物品提供により、はじめの試みにもかかわらず、収益30万円をこえるという大きな成果を得ることができ、ひらの共同作業所運営資金の大きな助けにすることができました。

助下さ、モボランティアのちややお父ち、ん念の御々、はび多くの人々の力と、障害者の働く場、ひらの共同作業所に村する臣民のみなさんの御理解により大きな成果が得られたものだけに、謝しております。

特に、今回のバガーのま、自を御理解下さり、会場の提供、キヤリティーオーフ、ショシの開催など、大きなお力添えを下さいました。(株)ダイヤモニドセンター東住吉ショッピングセンターの皆さまには、厚くお礼申し上げます。

多くの人の力を

今回のバガーは、実行委員とともに準備段階から操

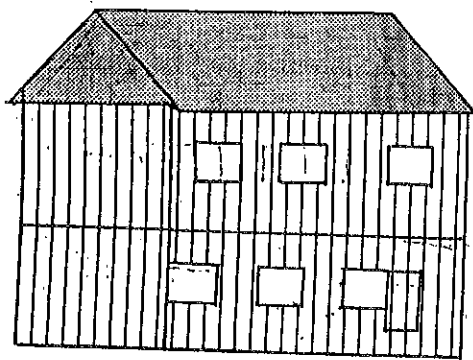
	行 事	事業活動	対 外
4		廃品回収	
5	25 ポートピア遠足	廃品回収	
6		廃品回収	
7		廃品回収	
8	6～7 宿泊訓練 12～19 夏休み	廃品回収	
9		廃品回収 区民まつり出店	26・27共作連全国集会
10	6 障作連芋掘り大会	廃品回収 25 チャリティバザー	
11		廃品回収	
12	12 もちつき大会 20 クリスマス会 26～ 冬休み		
1	～6 冬休み	廃品回収	
2		廃品回収	
3		廃品回収	

初夢を
正夢に……

三日の朝方初夢を見ました。古い農家の家の前に立っているのです。平家の大きな家で、物置が少しあり水かけた建物ですが、前庭が広くニワトリが二、三羽遊んでいます。奥の方では作業所の仲間やみんなの楽しそうな笑い声が聞こえて

きまふ。「いなかかな……
こんな古い所貸してもらえ
るのかな……」「し古
いはじ、六畳・四畳半に二
人だもんな——今の所は狭
いもんかな——」
「貸してやるよ、お嬢い
します」「……」
祐のよびを待たずに遊園を
待つ——
「いなかかな、こんな所
でよかつたら、使って下さ

	行 事	事業活動	対 外
4	6 入所式 27 障作連仲間交流会	4 チャリティバザー 11 廃品回収	
5		16 廃品回収	8 障作連総会
6		13 廃品回収	5～6 共作連全国集会
7	26 移設地鎮祭	4 廃品回収 28 古着・古本市 31 盆踊り出店	
8	10～11 宿泊訓練	1 廃品回収	
9	19 障害者登山 26 移設祝賀会	5 廃品回収 5 区民まつり出店	
10		3 廃品回収 16 ミニバザー 17 附養まつり出店 31 はばたけ広がれ フェスティバル	
11	16 障作連運動会	7 チャリティバザー 14 廃品回収	



夢が実現 作業所移設

私たちの広い作業所

開所して三年半、誰もが待ち望んでいた「広い作業所」への移設が今年の九月中に実現します。夢にまで見た広い作業所への移 までの至極と、新しい作業所の機帯を見てください。

五五年五月を連四丁目の文化住宅にひらの共同作業所が開設され、仲間・保護者、関係者一同の力がこめて、運動の着ができたと思えたものです。しかし、開設した作業所に容せられる

員の増加と共に狭苦しくな

移設 祝賀会は
9月26日
PM1:00～
に予定
しています。

り、広い場所を作業したいと強い要求がでてきました。その後、大阪府・市に対し再三土地の提供を要望しアパート、空家捜をしましたが、うまくいきません。

	行事	事業活動	対外
1 2	19 クリスマス会 28 もちつき大会 29~ 冬休み	5 廃品回収	3 百舌鳥作業所 見学来所
1	~ 5 冬休み 育成会成人式	14 廃品回収	
2		13 廃品回収	
3		6 廃品回収 27 ボラ協バザー出店	30 平野V○連絡 協議会見学来所

昭57年 6月10日 木 曜日 天気 ☀				
参加 9人		欠席 石心原		
行事		補佐 来訪者		
日程	午前	かまどやお茶 ラベルつけ	作業量 815kg 米目	
	昼	パン2カ口ミサラタみそ		
	午後	かまどやお茶 ラベルつけ スカートハ...		
仲間	道下 午前	かまどやお茶 ラベルつけ 袋入れまで (34)	午後	かまどやお茶 ラベルつけ 袋入れまで (16)
	石鳥 午後	かまどやお茶 ラベルつけ 袋入れまで (13)		
	堀入 午後	かまどやお茶 ラベルつけ (13)		
	谷村 午後	かまどやお茶 ラベルつけ (13)		
	原田 午後	かまどやお茶 ラベルつけ 袋入れまで (10)		
	中島 午後	かまどやお茶 ラベルつけ (13)		
	中田 午後	かまどやお茶 袋入れまで 米カマドつけ (36)		
稲井 午前	かまどやお茶 袋入れまで (46)	午後	(10)	

	行 事	事業活動	対 外
4		3 廃品回収	
5		1～5 チャリティ バザー 8 廃品回収	7～8 共作連全国集会 28～29 障作連総会
6		5 廃品回収	
7	19 加太海水浴	3 廃品回収 11～14 杭全祭出店	
8	11～16 夏休み	7 廃品回収	22～27 実習受入れ
9		4 廃品回収 11・12 区民まつり	

親なき後は深刻

塩入信子さんが入院。ミミンの作業が始まり、しました。かねてより楽しみにしていた自主製品検査を必要としていたのですが、病院の検査機械の故障などこのひのびになつてしまったもの、複雑な心遣いです。

谷村君の母親が入院しました。手術を必要とする約一カ月の入院、谷村君の世話ができませんでした。毎日、作業ばかりして、毎日の生活です。親子三人の家族、谷村君の世話ができませんでした。手術を必要とする約一カ月の入院、谷村君の世話ができませんでした。

谷村君の母親が入院しました。手術を必要とする約一カ月の入院、谷村君の世話ができませんでした。毎日、作業ばかりして、毎日の生活です。親子三人の家族、谷村君の世話ができませんでした。

仕事の開拓

障壁に感じた仕事の開拓は、自主製品づくりに必要の設備で、仲間達の潜在的な可能性は、多様な作業内容から引き出

縫製作業が三合のミミンを徒らに始まりました。また、また練習の設備で、ミミンに慣れる事を目的としています。



所じました。風間は作業所、夜はすみ火という生活に、谷村君はとまどい気味です。

介護を必要とする障壁者にとって、介護人なしでは生きていけません。家業の長年の願いだつた地域の作業所が作られ、卒後の心配は減りつつありますが、親なき後の問題は、ほとんど手がつけられていません。谷村君の心配は、玄くみんなの心配なのです。

廃品回収

いつもご協力ありがとうございます。

先月の回収は

70110円

でした。

今回の回収は

6月5日

です。

	行 事	事業活動	対 外
10	31 郊外学習 (大阪城博覧会)	2 廃品回収	6 TV撮影 (テレビ大阪) 24~ 実習受入れ
11	8 障作連運動会	13 チャリティバザー	~ 2 実習受入れ 14~ 作業所前庭工事 (失業対策事業部) 21~26 実習受入れ
12	11 もちつき大会 28~ 冬休み	4 廃品回収	
1	~ 5 冬休み 14 入所説明会	15 廃品回収	
2		5 廃品回収	
3	25 バスツアー (私市) 26~28 春休み	4 廃品回収	

生き生きとした 仲間達に思いも改に

教育大附属養護見学会

六月八日(水)教育大附属養護

養護校・高等部一年生の生徒・

教師・保護者ら、総勢約三〇名

の方達が見學にいらされました。

生徒より

そのつぼくは平野共同作業所へいきました。そしてぼくの袋

入水をしました。そしてぼくは

たのしかったです。卒業生の人もお

りました。ニセオの男の人ち

はしき入火していました。みんな

ぬっしんに仕事をしていました。

アルバイトにきました。

そして、心ざけてコミュニケーション

。単は、一つの大きな収穫でした。

の障者達と一体といふことで、
様々強力御支援をいただいた
てきました。しかし、作業所の
内容の理解という点では、訴え
る例にかなり問題点が多く、単
なる障者達を養える団体といふ認
識が、あつたようです。

保護者より

こちらの共同作業所を始めて見

始めさせて頂いて、今まで自分が

抱いていた不満が消えた様と思

います。作業所の内容もゆから

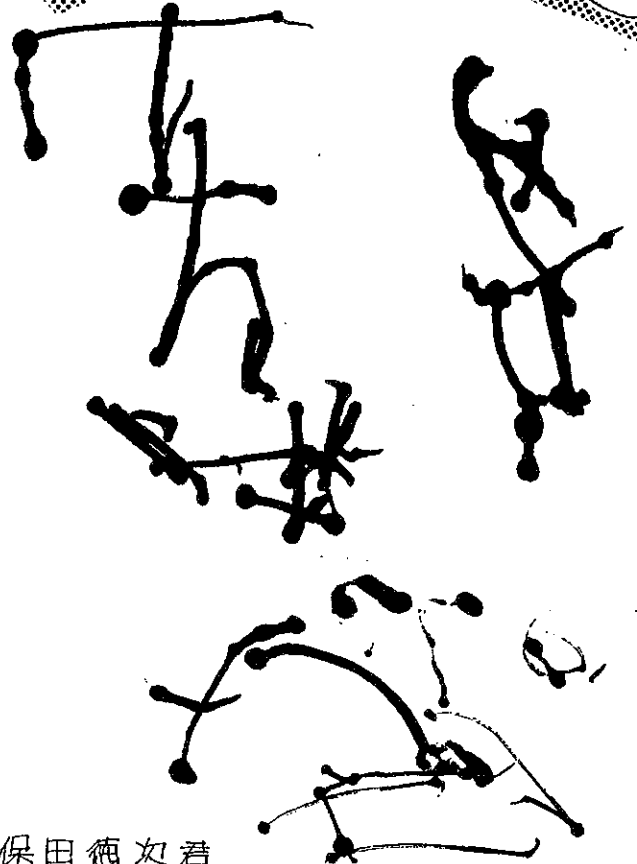
していた事、又指導員の方が左
手不自由なのに、おれりらず、懸
念に指導してあり、おれりらず、懸
念を感ぜ、私共何れかの世で
協力させて頂かなくてはと心新
に思いました。

個人的な事では、積み重ねが
何事成就できるのでは……。
全体的には、働いてあり、おれり
ず、皆用いるイメージに思いました。
農徳にならぬ文でしたが、
こちらの共同作業の見学が、



	行 事	事業活動	対 外
10	16 芋掘り	7 廃品回収 28 平分祭出店	
11	18 障害者登山 25 うたごえ祭典 (他作業所と)	18 チャリティバザー 23 はばたけ広がれ フェスティバル	
12	1 共作連映画会 23 もちつき大会 28~ 冬休み	2 廃品回収 30 廃品回収	
1	20 入所説明会	13 廃品回収	
2		3 廃品回収	
3	24 バスツアー(私市)	3 廃品回収	

新しいおとも




保田 徳如君
今春 尾養護卒業。
作業はやる気ましましぬ





大久保
何が何だかりからず無我無怖！ 声かけて下さったので気分が良かった。楽しかった。個別誌もちよく出してくださる人もいた。間では、始めは人についていただけでした。二回めはしゃべろうと思ってもなかなか言葉がでなかった。
マンリヨンの方も、中さんが声をかけて下さったので気分が良かった。楽しかった。個別誌もちよく出してくださる人もいた。間では、始めは人についていただけでした。二回めはしゃべろうと思ってもなかなか言葉がでなかった。
原田
ほってしまおうって古着やかばんなどがよく売れた。大成功で良かった。
三カニがたてこんで売れてうれしかった。
バザーであんぱんが売れると思えんかった。
おもしろかった。

	行 事	事業活動	対 外
4	12 ホリデイン サーカス鑑賞 18 お花見(平野公園)	7 廃品回収	
5	3 総会 19 育成会運動会	3 廃品回収 4~5 中之島まつり 12 バザー個別訪問 26 チャリティバザー	26 共作連全国集会
6	24 母子健康診断	2 廃品回収	1 障作連総会 19 高島屋レディース サークル見学来所
7	27~28 鳥羽海水浴	7 廃品回収 12~13 杭全祭出店	1 住之江養護 PTA見学来所
8	25 滝畑デイキャンプ	4 廃品回収 3~4 瓜破盆踊り	
9	16~17 宿泊訓練	1 廃品回収 8 区民まつり出店	
10	6 障作連 スポーツ祭典 13 日曜作業所 (地域との交流) 19 スペシャル オリンピック 20 障害者登山		




ひろし 直子 直子です

今度、新しくなりました
 広内直子です。年に三度
 びらの作並新に、ボランテ
 イアに来ていたので、広内
 びの顔は、ほんの少し印象
 に残っています。子供が大好
 きで、動物園が大好きで、
 お寿司が大好きで、寝るこ
 とが大好きで、人間的には
 本當に堪えに出来ていません。
 自分に出来ることは一生懸命が
 けたいと思っています。





新しい仲間達です




住之江養護学校卒業
カセットテープに合わせて
かけいらしく踊るの見てくれます。

古田 育子




大阪教育大学附属
養護学校卒業
"アイ"と言ってにっこり。
笑顔がどこもステキです

藤川 智恵美



大阪教育大学附属
養護学校卒業
と、とてもファイトマンを、指さし
ポーズがたまっています。

大工 正彦



大阪教育大学附属
養護学校卒業
ハンガーの作業"ヨイショ"
と、毎日がんばっています

四十九 和美

- 14 -

	行 事	事業活動	対 外
1 1	10 日曜作業所 (地域との交流)	2 肢体不自由者協会 父母の会バザー 3 廃品回収 3 府大白鷺祭出店 10 チャリティバザー 23 古着市	
1 2	8 日曜作業所 (地域との交流) 14 わたぼうし コンサート 22 もちつき大会	1 廃品回収 28 廃品回収	
1	6 初詣 12 新年会 19 入所懇談会	12 廃品回収	
2	9 日曜作業所 (地域との交流) 23 入所説明会 24 雑草の家 交流会	2 廃品回収	
3	15 オープン戦観戦 23 バスツアー(神戸) 24~26 春休み 30 入所式	2 廃品回収 30 廃品回収	

割りばしの仕事も順調です!

現在の作業は、スカートハンガーと割りばし、スカートハンガーの作業は1年以上の取り組みで一定の作業量を増やせるようになりましたが、割りばしの作業はまだまだ「作業への慣れ」の段階です。最後の工程までできる仲間はまだわずかです。しかし、仲間達の欲求は高く、袋をくしゃくしゃにしながらも最後までやろうとします。それは1人や2人でなく全員に言えることです。仕事は、できるか、できないかではなく、やる気があるかないかだと、体で表現しているかのようです。作業量も増えている状況の中で、作業の多様性は、また仲間達を成長させていきます。

廃品回収

36540円

次回は、8月1日です。

	行 事	事業活動	対 外
4	8 お花見 27 総会		毎水 コミュニティ 実習生
5	25 育成会運動会	3 廃品回収 10～11 古着市	毎水 コミュニティ 実習生
6	10 服部緑地ハイキング	1 廃品回収 8 チャリティバザー	毎水 コミュニティ 実習生
7	26～27 鳥羽海水浴	6 廃品回収 12～13 杭全祭出店	毎水 コミュニティ 実習生 サマーVO 受け入れ開始
8	24 嵐山ハイキング	2～3 平野南盆踊り 3 廃品回収 31 廃品回収	毎水 コミュニティ 実習生 31 障作連総会

青い海ー青い空ーがんばって泳ぎました

鳥羽海水浴

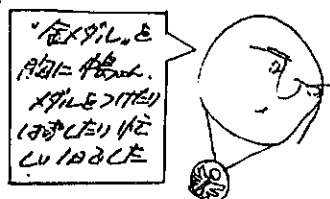
7月26、27日、近鉄を利用しての鳥羽1泊海水浴旅行へ、仲間、保護者、ボランティア、指導員など大勢でゆきました。今年で2年目ということもあって去年よりも、のんびり過ごすことができました。26日の朝、7時40分に集合。全員そろって8時23分の特急に乗車、ゆったり気分ですわっては、バックの中からお菓子を取りだしてはパクパク食べたりまわしあいしたり、仲間も保護者も旅行気分でニコニコ顔。朝早かったせいもあってコックリ寝ている仲間

も……。海が見え始めた頃、鳥羽に到着。民宿のマイクロバス2台にわかれて、いざ民宿へー民宿に着くと大広間で旅のつかれをいやしながらも、着替えをしたり寝ころんだり、涼しい風がふきぬけるなか昼食をとりまちにまちきれない仲間はすばやく水着に着替え、海へレッツ・ゴー！。去年よりも海の水がためたかったので、浮輪や命づなをつけて勢い良くはいたたものの冷たい！寒い！”とっては走って戻ってきたり、はいつているものの唇ノルブル震えている仲間

	行事	事業活動	対外
9	7 障作連 万博ハイキング 15~16 宿泊訓練	21 区民まつり出店	毎水 コミュニティ 実習生
10	19 障害者登山 25~26 スペシャル オリンピック	19 はばたけ広がれ フェスティバル 25~26 スペシャル 出店 26 瓜破北運動会	
11	2 ふれあいまつり参加	2 平分祭出店 3 府大白鷲祭出店	25~26 育成会 全国大会
12	13 わたぼうし コンサート 21 もちつき大会	年末物品販売	
1	5 6 初詣 12 新年会 15 育成会成人式 18 入所説明会		
2	8 入所面接	22 ボランティア 協会バザー	
3	21 ハイキング(奈良)	8 育成会バザー 29 ふれあい広場	

スペシャル
オリンピック
で金メダル
をもらい
ました。

気分は
金メダルの
Fidel



仲間達の楽しみのひとつ

ン種目(30m徒競争)！
ほとんどのメンバーをひら
ので占めており、男子では
中田くん、谷村くん、女子
では、寒川さん、吉田さん
道下さん、尾崎さん、宮田
さん、中満さんと計8名出
場。ボランティアの人達に
手を引ければ、後ろから
おされながらも全員ゴール
めざしてダッシュタッシュ。

のお弁当をすませ、午後か
らは100m(男子)に下
田くんの出場。頭にタオル
を巻き付けスタートを待つ
ばかりの余裕をみせながら
の銅メダル獲得で大喜び！
結果はいろいろあったけ
れど全員大ハッスルのスベ
シャルオリンピック。来年
は、金メダル獲得にむけて
がんばろう！



NO. 発行
ひよの
共同作業所
大阪市平野区
平野南3-15-26
Tel. 799-1065



＝ 1 9 8 7 (昭和62年度) ＝

	行 事	事業活動	対 外
4	1 選抜高校野球観戦 5 入所式 26 総会	12 バザー個別訪問	14 育成会新職員実習 毎水 コミュニティ 実習生
5	11 大泉緑地ハイキング 13 郊外学習 (交通科学館)	4・9 映画会 3～5 中之島まつり 24 バザー個別訪問 24 大阪城 ガレッジセール 30～31 共作連全国 集会手作り販売	17 障作連総会 30～31 共作連 全国集会 毎水 コミュニティ 実習生
6	21 育成会運動会 22 母子健康診断 24 なんば花月観劇	14 チャリティバザー	毎水 コミュニティ 実習生
7	26～27 鳥羽海水浴	31 瓜破北盆踊り	29 サマーVO 受入れ 実習生受入れ 毎水 コミュニティ 実習生
8	8 六甲山デイキャンプ 12～16 夏休み 20 夢工場'87見学 30～31 宿泊訓練	1 瓜破北盆踊り 2～3 平野南盆踊り	22 サマーVO 受入れ
9		20 区民まつり出店	19 障作連総会 27 育成会大阪大会



	行 事	事業活動	対 外
10	8 芋掘り 11 障作連スポーツ祭典 24~25 スペシャル オリンピック 28 天王寺博覧会見学	4・10 個別訪問 18 杭全秋まつり 18 附養ふれあい祭り 24~25 スペシャル オリンピック 手作り販売 15 肢体不自由協会 バザー	
11		1 教育大平分祭 1 大阪城 ガレージセール 3 府大白鷺祭 15 チャリティバザー 22 コミュニティ バザー 23 A B Cまつり 23 古着市	
12	12 わたぼうし コンサート 20 もちつき大会 25 クリスマス会 27~ 冬休み	カレンダー販売	
1	~ 4 冬休み 5・6 初詣 15 育成会成人式 17 新年会		
2	3 まきずし作り		
3	16 大相撲 大阪場所観戦 29~30 春休み	6 育成会バザー 13 ボランティア 協会バザー 27 ふれあい広場	

ザ・縁日 毎月28日

平野中央本通商店街
金銀寺にて出店

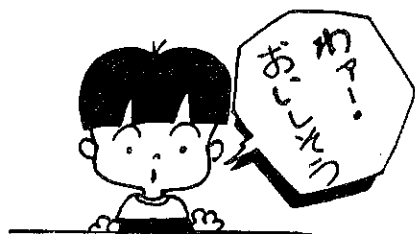
衣料品・手作り品など
いろいろ

	行 事	事業活動	対 外
4	10 レクレーション (グリーンピア三木) 13 なんば花月観劇 22 総会	24 附養手作り販売	毎水 コミュニティ 実習生
5	27 母子健康診断	3～5 中之島まつり 22 バザー個別訪問 28 全興寺出店 28～29 共作連全国 集会手作り販売	22 障作連総会 28～29 共作連 全国集会
6	5 育成会運動会	28 全興寺出店	11 育成会職員研修
7	23 後援会発足式 26 おおいずみ作業所 との交流会 31～ 鳥羽海水浴	13・14 杭全まつり 28 全興寺出店	25～ サマーVO 受入れ
8	～ 1 鳥羽海水浴 3 南港インテックス 13～17 夏休み	7 平野南盆踊り 28 全興寺出店	実習受入れ
9	15～16 宿泊訓練	11 チャリティバザー 28 全興寺出店	25 育成会大阪大会

11月12日(土)に太子町にある上の太子観光みかん園へ仲間指導員・ボランティア数名でみかん狩り&イモ掘りに出かけました。当日は、天気もよきはじめてのみかん狩りに仲間たちは、「取ってその場で食べてもいいけど、持って帰ってはダメ！」という指導員の声に一齐に取り始めました。取るのはとても上手で、すぐに皮をむいては食べての繰り返し。仲間もいれば、数人でかたまっても「あのみかんおいしそうや」と取り合いになったり、「1人暗く片隅で「あれもこれもいいなあ。」とブツブツ言いながら、なぜかポケット一杯にほりこんでいる仲間もいました。

大陽の下、シートを広げてのお弁当とたった今取ったばかりのみかんをデザートに、今日は特別に豚汁もサービスした昼食会。山の上での食事はまた格別、仲間の顔が違うのがよくわかります。

さて、みかん園をあとにして次はイモ掘りへ、いったん登った所をまたもやハイキング。畑に着くと皆一列に座って、「ヨイ・ドーン」の掛け声で掘り始めました。



さっそく向こうの方で「大きいお伊モさんや」と高々と見せてくれる仲間がいたり、「出てこようへんわぁ」と必死の仲間もいました。それでも、10本の手をショベルがわりに土を掘っていけば、思いもよらないほどお伊モが出てきていつの間にか夢中になっていました。

楽しかったイモ掘りも終わって車に乗る頃は、「つかれたぁ」と言って汚れた服をパタパタはらって、みかん園を後にしました。

むかして

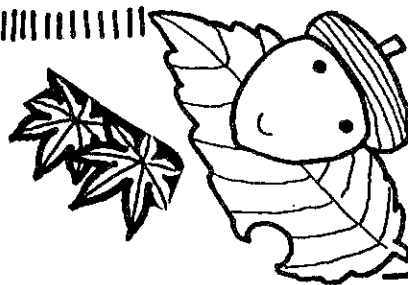
冬季号
 発行者
 ひらの作業所
 大阪市平野区
 平野南3-15-26
 Tel/799-1065

	行 事	事業活動	対 外
10	2 障作連スポーツ祭典 8 プレススペシャル オリンピック 12 郊外学習 (神戸ポートピア) 22 スペシャル オリンピック 23 障害者登山	16 附養ふれあい祭り 22~23 スペシャル オリンピック 手作り販売 28 全興寺出店 30 教育大平分祭	
11	12 芋掘り&みかん狩り 23 ミード文化祭見学	3 府大白鷺祭 6 ふれあい広場 20 平野区子供文化 カーニバル 23~24 古着市 28 全興寺出店	15~19 実習受入れ
12	10 わたぼうし コンサート 18 もちつき大会 24 クリスマス会 29~ 冬休み	カレンダー販売	6~8 実習受入れ
1	~4 冬休み 5・6 初詣 15 育成会成人式 22 新年会	28 全興寺出店	
2	3 まきずし作り	28 全興寺出店	
3	12 合同文化祭 17 オープン戦観戦 18 うたごえコンサート 21 郊外学習 (須磨水族館)	5 育成会バザー 12 ボランティア 協会バザー 28 全興寺出店	

11月&12月の取組

11月12日 イモ掘り&みかん狩り
20日 平野こども文化カーニバル
23・24日 カナエ リサイクル衣料
28日 全興寺 ザ・縁日

12月2日 生野養護学校学芸会
10日 わたぼうしコンサート
18日 おもちつき大会
作業所開放の日
29日~冬休み(1/4まで)



= 1 9 8 9 (平成元年度) =

	行 事	事業活動	対 外
4	3 入所式 8 なかまふれあい フェスティバル 23 総会	28 全興寺出店	
5	10 なんば花月観劇 22 母子健康診断 31 郊外学習 (浜寺公園)	3~5 中之島まつり 28 全興寺出店 28 バザー個別訪問	障作連総会 6~7 共作連 全国集会
6	4 育成会運動会		
7		12~13 杭全まつり 28 全興寺出店	25~ サマーVO 受入れ
8	11 なかまお楽しみ会 12~16 夏休み	6 平野南盆踊り 20 区民まつり出店 27 バザー個別訪問	
9	15~17 宿泊訓練	10 チャリティバザー 28 全興寺出店	育成会大阪大会
10	1 バスツアー (姫路) 8 障作連スポーツ祭典 15 障害者登山 21 スペシャル オリンピック	21~22 スペシャル オリンピック 手作り販売 28 全興寺出店 29 ふれあい広場	

5月10日、なんばグランド花月に行ってきました。今回のグランド花月は、漫才の合間マジックショー・うた・アクロバットショーなど、仲間たちが見て楽しむものがたくさんあり、大喜びでした。特にアクロバットショーでは、少し居眠りしそうになった仲間も目を見開いて、「あれ何!!。すごいなあ」と歓声と拍手の連続でした。

その他にもテレビでおなじみの桂文珍・阪神巨人・など豪華出演者ばかりで、会場は人でいっぱい。あっといふ間の3時間でした。

また来年も是非行きたいものですね。

おもろかった
なんば
グランド花月
(5月10日)

＝ 1 9 9 0 (平成2年度) ＝

	行 事	事業活動	対 外
4	22 地鎮祭 22 遊 i n g ' 9 0 27 総会	8 チャリティバザー	
5	19 なんば花月観劇	27 全興寺出店 27 リサイクル衣料市	12 障作連総会
6	14 レクレーション (花の万博) 19 健康診断 23 棟上式		
7	7 そうめん流し 10 滝畑デイキャンプ		23～ サマーVO 受入れ
8	8 郊外学習 (海遊館) 11～16 夏休み 24 竣工式 26 作業所引っ越し	5 平野南盆踊り	
9	4 消防署立ち入り検査 14～16 宿泊訓練		

大和川小学校での生活も早や、2ヵ月が経とうとしています。今では、すっかり仲間も慣れて伸び々と作業に遊びに励んでいます。仲間には、広々とした体育館の方が似合っているのかな？ 1人で静かに作業をしたい時は、体育館の隅の方へ行って1人ががんばっている仲間や、舞台の上から仲間を見下ろして作業をしている仲間や、皆積極的に作業に取り組んでいます。仲間の表情も明るく、生き生きとしているようです。

昼休みには、グラウンドへ出てサッカーやバレーボールを楽しんでいます。皆、汗でびしょびしょになってかえってくるんですよ。外へ出たがらない仲間は舞台の上で、歌をうたったり、バトミントンをしたり、マットの上でプロレスをしたりと、休んでいる時がないくらいです。こんなふうに、元気にすごしています。一度、大和川小学校まで仲間に合いに来て下さい。仲間全員で楽しみに待ってまーす。

	行 事	事業活動	対 外
10	14 障害者登山 21 障作連スポーツ祭典 27 スペシャル オリンピック	14 附養まつり出店 14 杭全まつり出店 21 区民まつり出店 28 バザー個別訪問	
11	23 芋掘り&みかん狩り	11 チャリティバザー 17 附属養護出店 カレンダー販売	
12	8 わたぼうし コンサート 15 日産チャリティ公演 ミュージカル観劇 23 もちつき大会 28 なかま忘年会 30～ 冬休み	2 長居ふれあい出店	7 藤花会贈呈式
1	～ 5 冬休み 6 初詣&新年会 13 育成会成人式		21 育成会新年会
2	2 まきずし作り		4 平野自由学園 保護者見学来所 5 育成会講演会
3	10 合同文化祭 20 郊外学習 (市立科学館) 23 入所面接 31 バスツアー (鳴門うずしお)		

たーニーあーげ

風が冷たく、少し吹くぐらいのこの日、お昼から隣の平野南公、
で、凧上げをしました。

この日のために？いくつかの凧を作り、飛ぶかどうか不安のまま、
いざ、公園へ。丁度いいぐらいの風も吹いていて、いち・にの・さん！
で凧をはなす仲間、と同時に全速力で走る仲間のタイミングがなかなか
合わず、風に乗れなくて、何回も何回もやり直すばかり。。。やっ
とのことで空高くまで上がり、気持ちよく風にのっている凧をみて、
仲間たち全員から拍手がおこり、順番に糸を引いてました。

凧はあまり上がりず残念でしたが、仲間はすごく楽しんでいたよう
です。最近、紙で作った凧をみるのが少なく、仲間達も自分で
た凧が空に上がって満足気でした。また、来年もあげようナ

	行 事	事業活動	対 外
10	5 郊外学習 (咲くやこの花館) 19 スペシャル オリンピック 26 芋掘り&みかん狩り	6 明星学園文化祭 手作り販売 19~20 スペシャル オリンピック 手作り販売 20 区民まつり出店	~ 8 仏教大学生 実習受入れ 15~18 実習受入れ
11	2 教育大平分祭参加 17 障害者登山	10 チャリティバザー 21~22 リサイクル 衣料市	25 加美東民生委員 見学来所
12	7 わたぼうし コンサート 22 もちつき大会 25 クリスマス会 &忘年会 29~ 冬休み		7 附属養護中2 見学来所 11 神戸大学生 見学実習 16 藤花会訪問来所 19 育成会研修会
1	~ 4 冬休み 5 新年会 10 初詣 12 育成会お正月大会		24 育成会新年会
2	3 まきずし作り 9 入所説明会 16~17 雪遊び		
3	1 入所面接 11 郊外学習 (大阪ガス科学館) 30~ 春休み		

節分の日 一巻きずし作り 豆まき

2月3日(月)、節分の日。この日は、朝から巻きずし作りでした。それそれ家庭から「まきずし」を持ってきて、そのまきずしの上に海苔・御飯・具と好きなだけのつけていき、くるっと巻くのですが、御飯が多かったり具が多かったりとなかなか上手く巻けず、海苔からはみ出し見事な形になりました。それでも面白いのか次々と海苔をとってきては、御飯をおいて・・・というように巻きずしを作っていました。早速、昼食に食べました。お昼からは、待ってましたの「豆まき」です。鬼面をつけて逃げる何人かのなかまの後ろを豆を手にしたなかまが「鬼は外、福は内」と言いながらパッと投げっていました。たゞくさ

＝ 1 9 9 2 (平成4年度) ＝

	行 事	事業活動	対 外
4	～ 1 春休み 2 入所式 5 バスツアー (神戸) 19 総会		
5	4 自由登所 12 健康診断 15～16 なかま一泊旅行		
6	6 休所日	14 バザー個別訪問	22～27 実習受入れ
7	4 休所日 29 ミュージカル キャッツ観劇		15 平野養護教職員 研修来所
8	12～16 夏休み	8・9 アクティ大阪 夜店出店 9 平野南盆踊り	3～9 サマーVO 受入れ
9	12～14 宿泊訓練	27 バザー個別訪問	
10	17 スペシャル オリンピック 26 芋掘り&みかん狩り	18 区民まつり出店 25 明星学園文化祭 手作り販売	28～29 育成会 全国大会



今年、銅メダルを

走り続けていた西尾孝君が

それと太りすぎには！

そんな中、毎年長〜い長

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ

ました（中にはお腹が大

きくて邪魔になって走れな

かったりも・・・。皆、

年には勝てませんねえー（

なりました（中にはお腹が大

なり、バタバタと足がもつ

れてコケるシーンも見られ



スペシャル
オリ

	行 事	事業活動	対 外
1 1	1 遊ing' 92 29 障害者登山	8 長居ふれあい出店 15 チャリティバザー 25~26 リサイクル 衣料市	
1 2	11 日産チャリティ ミュージカル観劇 12 わたぼうし コンサート 20 もちつき大会 26 なかま忘年会 (交通科学館) 30~ 冬休み		
1	~ 5 冬休み 6 初詣 6 太鼓教室 10 新年会 15 育成会成人式		29 育成会新年懇談会
2	3 まきずし作り 14~15 雪あそび		26 東成育成園保護者 見学来所
3	7 合同文化祭 9 郊外学習 (グリコピア) 11 入所説明会 21 入所面接 29~31 春休み		

日産チャリティミュージカル

日産労働連の組合員の皆さんが「福祉基金」を設けて福祉活動をすすめておられ、この度の公演もその活動の一環として開催しているのですが、その日産労連福祉基金によるご招待を与かりまして、劇団四季のご協力で公演するチャリティミュージカル「コスモスの239時間」を鑑賞してきました。

始まるまでは、ソワソワしていたなかも会場が暗くなるとシ～ンと静かになり、音楽に合わせたの軽快な踊りにびっくりしながらも熱心にくいいるように見えていました。ストーリーは分からなくても音

	行 事	事業活動	対 外
4	1 入所式 4 バスツアー (信楽) 17 附属養護で花見 25 総会・後援会総会		18 大阪市手をつなぐ 親の会 発足式
5	2・3 自由登所 12 健康診断	16 バザー個別訪問	
6	9～10 なかま一泊旅行	4～5 衣料市	
7	3 休所日 10 夕涼会 22 ツムラインパルス スーパールーカス 体験観劇	31 平野南盆踊り	11 育成会近畿大会 21 平野養護教職員 研修来所 26～ 実習受入れ 26～31 サマーVO 受入れ
8	12～16 夏休み	7～10 アクティ大阪 夜店出店 29 区民まつり出店	～21 実習受入れ 2～6 サマーVO 受入れ 3～5 看護学生 実習受入れ

≡≡≡ 将来検討委員会の活動報告 ≡≡≡

ひらの作業所の保護者達が「親亡き後、親がいても高齢で面倒が見れなくなった時」残された子供達は・・・という不安のもとで、【親亡き後も安心して暮らせる施設づくり】を目標に《自立にむけての生活・宿泊訓練・緊急一時預かり》を課題とし、その第一ステップとして日曜作業戸斤を実施する運びとなり、早や7ヵ月程が過ぎました。親も子もだんだんと慣れてきたので次に第2ステップとしてデイケアの取り組みをはじめました。作業所の三階に和室を設け、9～10名

のグループに分かれて、平日の昼から4時間程を過ごしたり日曜日には出かけたりしています。初めての事で親はどうすればいいのか、子供は「何で作業終わったのに自分達だけ残ってんのやろ??」っと思ったりとデイケアもこれから色々大変ですが頑張ってほしいものです。

ひらの作業所後援会の皆様、また地域の皆様どうかデイケア — を行う主旨を御理解頂きまして、御支援・御協力の程よろしくお願い致します。

	行 事	事業活動	対 外
9	10~13 宿泊訓練	19 バザー個別訪問 26 明星学園文化祭 手作り販売	27~ 実習受入れ
10	13 郊外学習 (枚方パーク) 23 スポーツフェスタ		~ 1 実習受入れ 3 育成会大阪大会
11	7 障害者登山 27 ナイスハート スポーツ広場	13 クレヨン広場出店 21 チャリティバザー	
12	11 わたぼうし コンサート 25 なかま忘年会 27 もちつき大会 30~ 冬休み	3~ 4 衣料市 4 YWCAバザー	8 藤花会 訪問来所
1	~ 5 冬休み 7 初詣 9 新年会 15 育成会成人式		
2	3 まきずし作り 13~14 親子レクレーション 味覚ツアー 20 入所説明会		
3	6 入所面接 10 社会見学 (ダイハツ工業) 13 合同文化祭 18 遊 i n g 海遊館 アミューズメント		11 おおさか パルコープ 平野地域くらし委員 見学来所

障害者若石登山
大野野山に登る！

天気◎時々曇りのあまり良いとは
言えないコンディションのなか、
朝早くから平野・東住吉の障害者
や保護者、ボランティアが一〇〇
人程集まり、観光バスに乗り兵庫
県猪名川町にある大野山を目指し
て出発。
今回で十二回目になる障害者登
山。山道はそんなに険しくはな
かったのですが、天気が悪かったせ
いか、冷たい風に吹かれて寒くて
寒くてしかたがなくなってきた
。昼食時には雨もパラパラ降
ってきた野外で食べる予定のお弁
当も山小屋を貸して頂き、そのな
かで体を寄せ合いながらたべまし
た。毎年恒例の豚汁(労山の方が
いつも作ってくれますよ。)
も温かくってとても美味しかった
です。登りも下りも大変でしたが
大阪府勤労者山岳連盟所属の市役
所労山・中央郵便局労山・OWC
Cの方々のおかげで、車椅子のな
かまも一緒に登ることができて、
嬉しかったと思います。他のなか
まもひとりひとり、長い距離を最
後まで自分の足で歩ききったな
まや途中、何回も休みながら一も
う、いやや。しんどい」と言っ
ては歩いて。最後の最後にゴール
インしたなかま。それぞれいい思
い出になったことでしょう。
これも毎年お世話になっている
労山の方々やボランティアの皆さ
んのあたたかい手助けがあった
からこそ登れたのだと思います。
また、来年も一緒に登ろう。
平成五年十一月七日(日)

	行 事	事業活動	対 外
4	1~3 春休み 4 入所式 6 附属養護で花見 8 健康診断 24 総会		15 ハートフルプラザ 来所
5	18~19 なかま一泊旅行	15 バザー個別訪問	11 城北作業所保護者 見学来所 26 平野ロータリー 見学来所 27 民生局・南港 ポータウン見学来所 29 大阪市手を つなぐ親の会総会
6	11 休所日	3・4 衣料市	
7	9 休所日 13 滝畑デイキャンプ	17 バザー個別訪問	25~ 実習受入れ 25~30 サマーVO 受入れ
8	12~16 夏休み	7 平野南盆踊り 28 区民まつり出店	17~20 サマーVO 受入れ
9	7 劇団四季 ミュージカル観劇 23~25 宿泊訓練	18 チャリティバザー 23 明星学園文化祭 手作り販売	2 NHKラジオ第2 取材見学 25 育成会大阪大会
10	22 スポーツフェスタ 26~27 なかま一泊旅行		

ジャーン！
今年も、いよいよプールが始まりました。六月十八日をかきりに、これからは毎週二回のプール活動が加わり、なかま達は大喜び!!
夏と言えばやっぱりプールですよね。そのプールに週二回も入れるなかまは、なんて幸せなんだろう?? そのぶん、泳ぎの方も達者になってもらわなくては・・・

そう思っているのは指導員だけのようですが・・・
ともかくプールでしっかり体力つけて、夏を乗りきっていきたいと思ってます。



	行 事	事業活動	対 外
1 1	7 障害者登山 27 ナイスハート スポーツ広場	6 ふれあいフェスティバル出店	
1 2	11 わたぼうし コンサート 25 なかま忘年会 18 もちつき大会 30～ 冬休み		16 藤花会 訪問来所
1	～ 5 冬休み 8 育成会成人式		
2	3 まきずし作り 13～14 親子レレション 味覚ツアー 19 入所説明会		
3	12 入所面接 5 合同文化祭	23～24 衣料市	

8月のスケジュール

- 1日～9日 夏期実習生受入れ期間中
(但し、日曜日は除く)
- 7日 平野南納涼大会 in 平野南公園
- 12日～16日 夏休み
- 17日～20日 サマーボランティア受入れ
- 22日～25日 夏期実習生受入れ期間中
- 28日 平野区民まつり in 平野公園
2. 5. 9. 11. 19. 23. 26. 30日 プール活動日
- 9日 なかま給料日
- 29日 なかま会 & 誕生日会

—ちょっとした噂ばなし—

皆さん！今ではすっかりお馴染みになったタイ米。それどころか、厄介者になっていますが、作業所ではひょんこことから頂いたタイ米を給食で活用しています。

例えば、ピラフやかやくご飯やらにしておいしく食べています。口に合わないという人もいますが、結構、味がしみておいしいですよ。

なかまのあいだで人気者です。。。

= 1 9 9 5 (平成7年度) =

	行 事	事業活動	対 外
4	1~2 春休み 7 附属養護での花見 19 健康診断 21 郊外学習 (BARRIER FREE '95) 23 大阪市立科学館 (総会)		
5	18~19 なかま一泊旅行	20 狭山衣類回収	28 大阪市手をつなぐ 親の会総会
6	21 プロ野球ナイター 観戦	4 バザー個別訪問	
7	12 滝畑デイキャンプ 21 郊外学習 (下水道科学館)		24~ 実習受け入れ 24~ サマーVO 受け入れ
8	21 遊 i n g ' 95	5 平野南納涼大会 27 区民まつり出店	
9	22~24 宿泊訓練		

バスツアー

11月27日(月) 岡山にて

今回のバスツアーは、中国地方まで足を伸ばし、岡山市まで行って来ました。福祉施設の見学を目的としてその後、市内を見学するという行程で行いました。

まず、岡山市内にある、「社会福祉法人 九巨川荘」にお邪魔しました。

そこは、身体障害・知的障害・老人・乳児関係施設が30ヵ所ほどもあって、その他に職員養成施設や職能訓練センター・研修センター・医療福祉研究所も併設され、ひとつの大きな村のようになっていました。

そこに到着後、施設内の部屋に入り、旭川荘のあゆみや施設の説明を受けたり、スライドを見たりしました。そして、質疑応答では保護者からのいろいろな質問に親切丁寧に応えてくれました。

その後、たくさんある施設の中からいくつ

かの施設を見学させてもらって、旭川荘をあとにしました。

この施設見学を終えて、保護者もそれぞれ考えたり、思ったりしたことでしょう。これからいろいろな施設を見学して、勉強していきたいと思っています。

最後になりましたが、旭川荘の方々には、本当にお世話になりました。有り難うございました。

施設見学を終えた後は、岡山市の後楽園へ行って素晴らしい庭園を歩きました。あまりゆっくりとはできませんでしたが、いい天気だったのでとても気持ちよかったです。

朝はやくから、夜おそくまで長〜い旅でしたが、充実した一日となりました。

	行 事	事業活動	対 外
10	21 スポーツフェスタ 28 クレヨン広場 出店参加	14 ふれあいフェスティ バル出店	
11	2 味覚狩り 19 障害者登山(生駒山) 27 秋の親子バスツアー (岡山県) 28 生野養護学校 学芸会見学	12 チャリティーバザー	16 大阪市手をつなぐ 親の会臨時総会 27 岡山・旭川荘見学
12	12 日産チャリティー ミュージカル 16 わたぼうし コンサート&忘年会 23 おもちつき大会 29~ 冬休み	8~9 衣料市	19 藤花会訪問来所
1	~4 冬休み 5 初詣 15 成人式(前夜)		27 社会人VO受入れ 29 市育成会設立 パーティー
2			11 育成会大阪大会
3	10 合同文化祭 16 劇団四季 ミュージカル 美女と野獣		

明日にむかって 12月号 1995.12.25

おもちつき大会 12月23日(土・祝日)

ベッタン、ベッタンと威勢のいい音と共に白〜い湯気が舞い上がり、「よいしょ! よいしょ!」と掛け声が合わさって、いよいよおもちつきの始まり、始まり。。。

毎年恒例となっているので、保護者も手慣れたもので、着々と準備をすすめていき、次々と蒸したもち米を臼の中に入れては杵でついていき、た〜くさんのおもちができて、それをなかま達がクルクルと丸めていきました。もちろん、なかまも順番に不器用ながら、おもちをつきましたよ!

雑煮などの昼食を食べたあと、今年は何年かぶりに保護者を相手になかまの主催でザ・縁日をおこないました。

保護者連に人気のあてものやゲームがあ

ったり、喫茶コーナーを開いてなかま達がウェイター・ウェイトレスになってコーヒーやお菓子を運んできては喜ばれていました。また、ミニ・バザーでは「がんばろう神戸」をテーマに神戸地区にある作業所の自主製品やカレンダー、自家農園で育った野菜などを取り寄せ、販売しました。少しでも応援できたらとなかま連も頑張って保護者に買ってもらっていました。

午前中は保護者が頑張りと、午後からはなかま連が頑張りと、あっという間に一日が過ぎたようです。

= 1 9 9 6 (平成8年度) =

	行 事	事業活動	対 外
4	5 花見(大阪城公園) 17 健康診断 21 総会		
5	26 バスツアー(美杉)	18 狭山衣類回収 31~6/1 衣料市	
6	30 はばたく我らの集い	2 バザー個別訪問	
7	17 滝畑デイキャンプ		10・26 松原高VO 22 高井田訓練所 見学来所 サマーVO受入れ
8		3 平野南納涼大会 25 区民まつり出店	2 くすの木園 見学来所 7 親子一日体験実習
9	21~23 宿泊訓練		

1996 SUMMER 暑中お見舞い申し上げます。



いよいよ夏がやってまいりましたが、皆様にはいよいよ
御清栄のこととお喜び申し上げます。平素はひらの作業所
への御支援・御協力を頂き、誠に有り難うございます。
今後とも一層の御厚情を賜りたくお願い申し上げます。

さて、毎年七月七日が近づくと、短冊に各々、願い事や
松やなぐり書きを書いて笹の葉につるすのですが、今年は
できなかったもので、この場をかりて今年の方針などの
思いを書いておきました・・・

	行 事	事業活動	対 外
10	19 スポーツフェスタ	20 チャリティーバザー	2 くすの木園 見学来所 3 人事院弥富総裁 見学来所 6 育成会近畿大会 13 育成会大阪大会
11	9 市育成会バスツアー 17 障害者登山(剣尾山) 29 生野養護学校 学芸会鑑賞 30 障害者登山 記念レセプション		9 市育成会作業所 部会バスツアー 21 平野養護学校 PTA見学来所 25 人事院大阪 見学来所
12	10 日産チャリティー ミュージカル 21 わたぼうし コンサート&忘年会 23 おもちつき大会& 市育成会クリスマス会 28~ 冬休み		3 府立盲学校 交流来所 8 愛心園見学 16 藤花会訪問来所
1	~5 冬休み 6 初詣 15 育成会成人式& お正月大会		
2	23 合同文化祭		
3	9~10 親子一泊旅行 (白浜)		



第15回スポーツフェスタ '96 大阪 in長居第2陸上競技場

スポーツの秋と言うことでこの時期は大阪知的障害者スポーツ協会主催による、スポーツフェスタにひらの作業所も参加させて頂いています。

10月19日(土)、たくさんの障害児・者があつまった中、次々と競技がはじまり、それぞれ力一杯頑張っていました。我が作業所のなかま達も30M走・50M走・100M走と走りました。応援する側にも力が入り、なかま同志お互いに大声をだしての声援となりました。また、来年も走れるかな？

＝ 1 9 9 7 (平成9年度) ＝

	行 事	事業活動	対 外
4	9 花見(鶴見花博公園) 16 健康診断 20 総会	27 くすの木市	5 育成会職員研修 8 地域生活センター 見学 19 社会人VO
5	29～30 なかま一泊旅行 (大阪ドーム&天保山)	24 狭山衣類回収 25 くすの木市	17 阪神家政VO 31 市育成会職員研修
6	22 はばたく我らの集い	1 バザー個別訪問 22 くすの木市	21 阪神家政VO
7	9 自由学園での優歌団 コンサートに参加 18 滝畑デイキャンプ		3 社会人VO
8	13～17 夏休み	2 平野南納涼大会 24 区民まつり出店	4～ 実習生受入れ
9	20～22 宿泊訓練 26 平野区VO フェスティバル		6・20 阪神家政VO 24 育成会大阪大会

“馬肥ゆる秋”

先日の指導員会議の中で、体重の話になり、過去数年の、
体重の変化を調べましたが、過去6年間で全員合わせて63kg
増えていました。数名を除いては確実に太っていました。加齢に
よるものもあると思いますが、ここいらで「ストップ体重」を目指して
みようということになり、見た目だけじゃない肥満をみつけようと
体脂肪率計を購入しました。計測すると見た目以上に率の高い人
や思ったより率の低い人もいました。{バランスよくしっかり食べて適度な
運動}を目標に、少しずつ運動量を増やせればと思います。

秋でおいしいおいしい...と少し食べ過ぎの方がいらしゃれば
一度作業所で体脂肪計を使ってみませんか？ 時間はとりません。
少し正直に性別と年齢と体重を入力すれば、あとは
ピーというのを待つだけです。勇気を出して.....

	行 事	事業活動	対 外
10	17~18 高野山一泊		4 阪神家政VO
11	2 ふれあいびっく 開会式 9 障害者登山 23 遊ing '97 28 生野養護学校 学芸会鑑賞	15 チャリティーバザー	1・29 阪神家政VO 8 育成会全国大会 (岡山)
12	10 日産チャリティー ミュージカル 13 わたぼうし コンサート鑑賞 20 市育成会 クリスマス会 21 おもちつき大会 27~ 冬休み		
1	~4 冬休み 5 初詣 18 育成会成人式& お正月大会		17・31 阪神家政VO
2	1 入所説明会 7 映画鑑賞(ものけ姫)		7 阪神家政VO
3	1 合同文化祭		12・18 学齢期VO

《もののけ姫》を

観にいったよ編

—2月7日(土)—

平野区が無料で映画鑑賞を募集をしたところ、応募がとっても沢山だったのですが、幸運にも作業所が出したハガキが当たり(動物よ!動物)、待望のもののけ姫を観に行きました。

E、T、を抜く、大ヒットロングランのこの映画を観れるなんて、本当にラッキーでした。

午後2時開演の平野区民センターに早めに着き、観やすい席を確保して頂いていたので、本当にゆっくりと楽しめました。

アニメーションなので、なかま達にも観やすく、大画面に釘付けで、目をパッチリとして観ていました。なかには、こんな暗い所にくると、寝ると決めているみたいにかさなイビキも聞こえていましたが、それでも2時間を越える、もののけ姫を皆んなは、最後まで楽しんでいました。

でも、この日も雨で今年は作業所が動くとも雨・雨・雨のジジクスが出来つつあります。

節分

恒例の巻き寿司づくりを

しました編

—2月3日(火)—

どんな寿司屋に行ってもこんな具は入っていないだろうと胸を張りたくなるぐらいに、かんぴょう・玉子焼き・エビはあたりまえ!新巻・きゅうり・かに・しいたけ、あれとこれとそれと、なかまも自分の好きな具を入れて巻いてくれましたが、欲張りすぎて巻ききれなかったり、持ち上げるとバラバラと。。。それでもみんなで巻けば、楽しく・美味しく、これで今年一年も大丈夫です。M!



バレンタイン

恒例のチョコ作りを

しました編

—2月13日(金)—

＝ 1 9 9 8 (平成10年度) ＝

	行 事	事業活動	対 外
4	3 花見(大阪城公園) 18 創作活動(毎月1・3土曜) 19 総会 22 健康診断	26 くすの木市	
5	5～6 なかま一泊旅行 (岡山)	23 狭山衣類回収 24 くすの木市	30 阪神家政VO
6	21 はばたく我らの集い	1 バザー個別訪問 22 くすの木市	11・16・23・30 援助者養成講座 6・20 阪神家政VO
7	9 自由学園での優歌団 コンサートに参加 18 滝畑デイキャンプ	5 バザー個別訪問	9 援助者養成講座
8	12～16 夏休み	8 平野南納涼大会 23 区民まつり出店	6 障害者の人権白書 づくり報告会 24～27 夏期実習生受入れ
9	5 「街に暮らす」 ビデオ上映会 23～25 宿泊訓練		19 阪神家政VO 27 アミティ フェスティバル 学齢期VO

第5回

『はばたく我らの集い』

先日の21日(日)に[はばたく我らの集い]が、大阪中央区民センターにて行われました。

毎回、なかまも楽しみにしている一日のひとつですが、期待通りに楽しい一時を過ごさせていただきました。

楽団の演奏では、雰囲気も最高潮だったのですが、つつい居眠りしているなかまがいるかと思えば、手拍子を打っているなかまなど、それぞれの楽しみ方で楽しんでいました。

援助者養成講座

はばはスタート!



先々月号でもお知らせいたしました、ひらの作業所主催の『第1回援助者養成講座』が、6月11日(木)をかわきりに長居障害者スポーツセンターにてスタートしました。

各方面に受講の受付をお知らせしたところ、たくさんの方々が参加され、ひらの作業所に携わって下さっているボランティアや他の作業所の指導員や地域の方などが、講座を受けられました。その中には、ボランティアは未経験という方もいらっしゃって、熱心に聴講しておられました。内容は次の通りでした。

	行 事	事業活動	対 外
10	12 散歩の会	23 暮らしのくふう フェスティバル 24 狭山衣類回収	3・31 阪神家政VO 21 扇町ライオンズ クラブ記念大会 25 育成会 近畿・大阪大会
11	9 散歩の会 17 障害者登山 27 生野養護学校 学芸会鑑賞	15 チャリティーバザー 21 常磐会短大 学園祭出店	7 阪神家政VO 13 大阪市育成会 作業所部会交流会
12	10 日産チャリティー ミュージカル 14 散歩の会 19 市育成会 クリスマス会 20 おもちつき大会 27～ 冬休み		常磐会短大VO 学齢期VO
1	～3 冬休み 4 初詣 17 育成会成人式& お正月大会		16 阪神家政VO 常磐会短大VO 学齢期VO
2			12～13 アメニティー フォーラム 15～16 附属養護 実習受入れ 16～17 平野北中学校 VO受入れ 27 淡路こどもの家 シンポジウム 常磐会短大VO 学齢期VO
3	7 合同文化祭 15 散歩の会 29～31 春休み	《援助者養成講座の内容》	学齢期VO

日 付	講 師	講演のテーマ	内 容
6月11日(木)	大阪市育成会地域生活支援センター 所長 山川 宗計氏	知的障害者が地域で暮らすということ	なかまが受付をして、受講者の皆さんを迎えて開講式を行い、講演が始まりました。
6月16日(火)	知多地域障害者生活支援センター 所長 山田 優氏	知的障害と身体障害を併せもつ人達の加 齢に伴う障害の重度化への援助のあり方	講演後、なかまも参加。パネリストを迎えての話し合いの中で、なかまは歌を披露し、一人一人が自己紹介をしました。
6月23日(火)	フラワーアレンジメント 川口 彩氏	障害者の日常介護の方法と実戦	なかまが中心になって、お花の教室を行いました。午前中は、受講者と一緒に体育館にて、ゲームをしたり散歩をしたりして過ごし、午後からは「七夕」をテーマに置いたイベントしたり、お花を飾ったりして楽しみ、昼食もカレー等を一緒に食べました。

= 1 9 9 9 (平成11年度) =

	行 事	事業活動	対 外
4	12 花見(大仙公園) 18 総会 28 健康診断	25 くすの木市	常磐会短大VO
5	10 散歩の会 16~17 親子一泊旅行 (香川)	22 狭山衣類回収 23 くすの木市	1・15 阪神家政VO 常磐会短大VO
6	14 散歩の会 27 はばたく我らの集い		5・19 阪神家政VO 常磐会短大VO 学齢期VO
7	18 デイキャンプ(舞洲)	4 バザー個別訪問	夏期実習生受入れ 学齢期VO
8	11~15 夏休み	7 平野南納涼大会 22 区民まつり出店	夏期実習生受入れ 学齢期VO
9			4・18 阪神家政VO 12 育成会大阪大会 16 小規模作業所 全国連絡協議会 27 育成会近畿大会 学齢期VO

5月で退職された中田指導員にかわって(そうなんです。女性指導員が一人増えたので・・・)、《サボネの会》のご協力
で毎日1名の方が日替わりで、なかまのお世話を
して頂けるようになりました。

5名の方々は、なかまとも以前から顔見知り以上の
関係で創作活動の時やグループホーム「藍」
の立ち上がりのときにお世話になった方や月1回
はボランティアに来て頂いている方ばかりなので
なかまも安心しているようです。いつもは短い時
間でのお付き合いだったのが長い時間の中で、ま
た違った一面が見れたとおっしゃっていました。



6月27日(日)

杭全神社にて、くすの木市が開催されます。
先月、先々月には、創作活動で作ったなかまの
作品が展示され、また創作活動の講師である、
川口彩さんがひらいている“ゆ〜ろぶ〜け”が
フラワーアレンジメントを行い、好評のうちに
終わりました。

残念ながら、6月のくすの木市ではなかまの
作品の展示やお花の教室は行いませんが、とっ
ても賑やかなので、いちど覗いてみてはいかが
ですか？

7月に入ると、作業所の恒例行事のひとつとして、プール活動が始まります。毎週1回だけなのですが、暑い中、プールに入れるとなかま達は大喜びです。泳ぎの方は上達しませんが、ぶかぶかと水に浮かぶことだけは上手くなっているようです。。。

肥満気味のなかまが増えていたので、少しは運動して秋にはスマートな体になってくれればいいのですが、難しいかな・・・

＝ 2 0 0 0 (平成12年度) ＝

	行 事	事業活動	対 外
4	1～2 春休み 12 花見(鶴見緑地) 15 創作活動(第三土曜) 16 総会 24 散歩の会		
5	2 散歩の会 14 はばたく我らの集い 16 健康診断 21～22 親子一泊旅行 (小豆島&淡路花博)		
6			3・17 阪神家政VO 学齢期VO 29 此花作業所 見学来所
7	1 平野ウォークラリー 14 デイキャンプ(舞洲)		7 上原氏見学来所 実習生受入れ 阪神家政VO
8	12～16 夏休み	5 平野南納涼大会	実習生受入れ 阪神家政VO
9			2 市育成会職員研修 2・16・30 阪神家政VO 4～6 東住吉中学校 VO受入れ

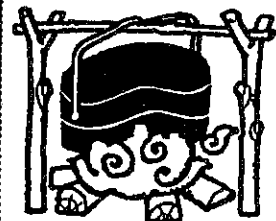
デイキャンプ

7月14日(金)

曇り空のこの日、ひらの作業所はみんなでデイキャンプに出掛けました。場所は「舞洲野外活動センター」内にあるバーベキューテラスで行いました。

マイクロバスに乗り込み、阪神高速を走って小一時間で到着。炊事場で野菜を洗って、切って、焼いて、カレーを煮込んで準備OK!になったところで、まだお昼には時間があつたので、海を見に散歩へ出かけました。海のそばに行くとてもいい風が吹いていて、とても気持ち良かったです。動きたくないほどでしたが、お腹のほうグ〜となり、炊事場に戻りました。戻ると机の上にちゃんと配膳されていました。これもボランティアさんと保護者の方がお手伝いに来てくれたお蔭だと感謝しています。。。

食べ終わると、アミティ舞洲のプールへ行きました。広くて綺麗なプールなので、気持ちよく泳ぐことができました。特にあがる前に入ったジャグジーは適温で泡がプクプクとでて出るのが嫌になるぐらいでした。汗のかいた体をさっぱりさせて帰路につきました。



	行 事	事業活動	対 外
10	8~10 宿泊訓練 20~21 暮らしのくふう フェスティバル 28 スポーツフェスタ	20~21 暮らしのくふう フェスティバル出店	21 阪神家政VO 学齢期VO
11月以降は予定			
11	17 作業所部会運動会 19 障害者登山 22 紅葉狩り(奈良)	19 常磐会短大 学園祭出店	11 育成会全国大会 (奈良) 城南短大 実習受け入れ 学齢期VO
12	日産チャリティー ミュージカル おもちつき大会 29~ 冬休み		市育成会5周年 シンポジウム
1	~4 冬休み 5 初詣 育成会成人式& お正月大会		
2			アメニティー フォーラム
3		舞洲車イスマラソン 出店	

今月の創作活動！！

今月の創作活動は音楽療法でした。巷でいろいろと音楽療法の事聞きますが、どんな事をするのかと興味深々でした。

講師は西村さん。他の施設でも音楽療法の講師をされているそうで、お花の教室の講師、川口さんのお知り合いだったので、安心してお願いすることになりました。

当日、まずはマイクを持って一人一人自己紹介をしながら自分のお得意の歌をアコーディオンの音にのせて歌いました。次に〈トーンチャイム〉という綺麗な音のする楽器を一人ずつ持たせてもらい曲を奏でました。あまり上手くはできませんでしたが、一応曲にはなっていました。あと鈴やなるこ、太鼓で隔ったリズムをとったして心を弾ませました。そして次にゆったりとした音楽に合わせて、大きな一枚の布を使ったバルーンを楽しみました。ふわふわと気持ち良かったそうです。あっという間のとても楽しい1時間半でした。来月も来ていただけるので心待ちにしています。。。

ドイツからの訪問者

21日から一週間、作業所の3階にドイツから3人の方が来られ宿泊されています。

これは、9月にドイツのハンブルグ市アルトナ区オッテンゼン地区で行われる市民まつりに出展する映像インスタレーションのための素材収集と「平野町ぐるみ博物館」を題材とした映画制作のための調査という目的で来日されたそうです。

昨年5月に大阪市とハンブルグ市友好都市提携10周年を記念して大阪で行われたまちづくり国際交流シンポジウムにお世話になっている全興寺の川口住職が参加され、来日されたドイツの方々も平野に興味をもたれたそうです。来日されたのは女性映画監督・女性カメラマン・男性通訳の3名です。素晴らしい映画ができることを期待しています。完成したら是非、鑑賞させていただきたいですね。

「机上の空論ではだめだ。人事院の弥富啓之助総裁(69)は、国家公務員のボランティア休暇導入を検討中の部下にそう言っていて被災地に飛び込んだ。阪神大震災から1年たった今年1月、仮設住宅での相次ぐお年寄りの孤独死の報道も自らをボランティアに駆り立てた。今、官僚の先例主義や無責任体質への批判が高まっている。「視察では到底見

弥富啓之助 人事院総裁

えないものが見えた」と率直に語る総裁の手腕には最近、感謝の手紙が届いた。

(特別報道部・坂口佳代)
弥富総裁は1月27、28日の休日を利用して被災地などを訪ねた。「職員のだれもボランティア経験がない。これでは机上の空論だ」と反省する平面、「災害で被災地を視察して陳情を受けて、それでいいのかという気持ちもあった」。受け入れ団体の責任者は、

「体験なければ机上の空論

総裁の肩書を知っていたが、公務でないので一緒に参加したボランティアのメンバーには名前しか明かさなかった。

肩書隠しボランティア

被災地へ「見えぬもの」作業所へ

知的障害者や肢体不自由者23人が通う大阪市平野区の「ひらの作業所」では、カーテンレールの部品組み立て作業に従事した。



弥富啓之助
人事院総裁

ボランティア休暇制度

ボランティア休暇制度は、地方自治体がわずかに導入している程度で、民間企業が先行している。高齢化社会を迎え、ボランティアへの要請は高い。平面、自治体では、制度を導入したものの、ほとんど活用されていないのも実情だ。自治体でいち早くボラン

障害者と直接、向き合うのは初めての。「あー、うーと」言いつつ腕をつかまれた時は名前しか明かさなかった。京後、ふるさとの青森リンゴ軒かで「具合が悪く

ず、うろたえてしまった。障害者・高齢者を対象にバリアフリー(障壁の除去)などを言葉で言っているも、実際は並大抵ではない」。さらに、「職員はトイレの介助などで

を返した。予期しなかったあたりがとうとうの返礼。「胸にシリリと刺さるような気持ちになり、涙が溢れだした。心を開いては振返る。

ボランティア休暇を1994年に導入した栃木県大田原市(職員約500人)。導入後1年半で、申請は延べ15人。導入自治体、ほとんど活用せず。過度に。東京都足立区(同約5000人)では92年度から、自分で選んだ施設でボランティアができる研



国家公務員のボランティア制度を自ら実践する人事院総裁

弥富啓之助さん



「おっちゃんや」。8カ月に訪れた大阪市内の障害者長向作業所で知的障害者が親しげに声をかけられた。あの時は肩書を隠し、こっそりボランティアをした。今も、仕事がないと外に出なくなってしまう。将来への希望がもてるような支援策がないものか。衆院事務局長時代、毎朝5時に起きて、寝たきりの母親をふろに入れた目録がよみがえった。「母が喜ぶのを見た。別に大変だとは思わなかった。ボランティアもそういうもんじゃないかな」

「自分は役に立っているのだろうか」と不安にもかれたが、作業所のメンバーや仮設のお年寄り、他のボランティアとの出会いは、それ以上

「その後、どうしているか気になって。障害者も高齢者も、仕事がないと外に出なくなってしまう。将来への希望がもてるような支援策がないものか。衆院事務局長時代、毎朝5時に起きて、寝たきりの母親をふろに入れた目録がよみがえった。「母が喜ぶのを見た。別に大変だとは思わなかった。ボランティアもそういうもんじゃないかな」

「自分は役に立っているのだろうか」と不安にもかれたが、作業所のメンバーや仮設のお年寄り、他のボランティアとの出会いは、それ以上

青森県出身。東大法卒。1949年衆院事務局に入り、82年事務総長、90年から人事院総裁。趣味は推理小説。70歳。

施設概要

作業所の概要

- 名称 障害者の働く場 ひらの作業所
 - 設置主体 手をつなぐ親の会ひらの作業所
 - 運営主体 ひらの作業所運営委員会
 - 入所者の状況 (平成12年10月1日現在)
- | | | | |
|--------|---------------|--|-----|
| (性別) | (障害種別) | | |
| 男性 10名 | 知的障害 | | 14名 |
| 女性 8名 | 知的障害と肢体不自由の重複 | | 4名 |

- (年齢区分)
- | | | |
|-----|-----|------------|
| 20代 | 2名 | |
| 30代 | 11名 | |
| 40代 | 5名 | 平均年齢 37.1歳 |

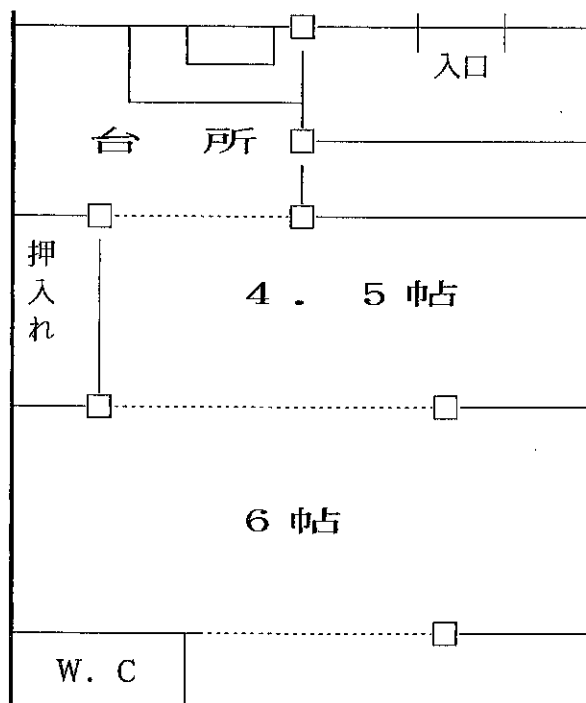
- (住居区分)
- | | | | |
|------|-----|------|----|
| 平野区 | 13名 | 阿倍野区 | 1名 |
| 東住吉区 | 3名 | 生野区 | 1名 |

●指導方針の内容

作業を通じて働くことの喜び・生きがいを感じ、楽しく作業ができ協調性・持続性など社会の一員として意識を高める。また、集団生活の中でお互いを助け合い、思いやりの心を育て個々の成長を図る。

●施設規模

☆開所～昭和57年



文化住宅をお借りして

大阪市喜連4-3-13
北野文化

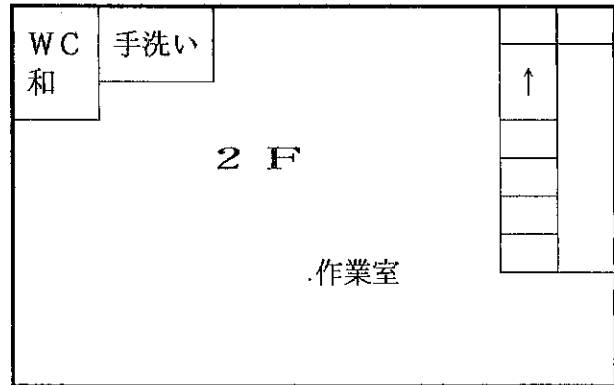
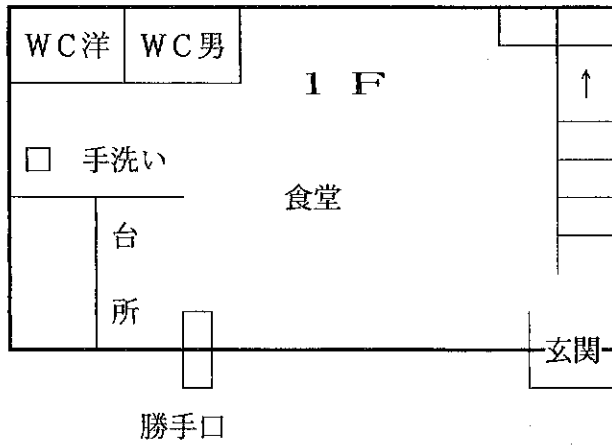
☆昭和57年～現在

大阪市有地無償賞与 移転

大阪市平野区平野南3-15-26

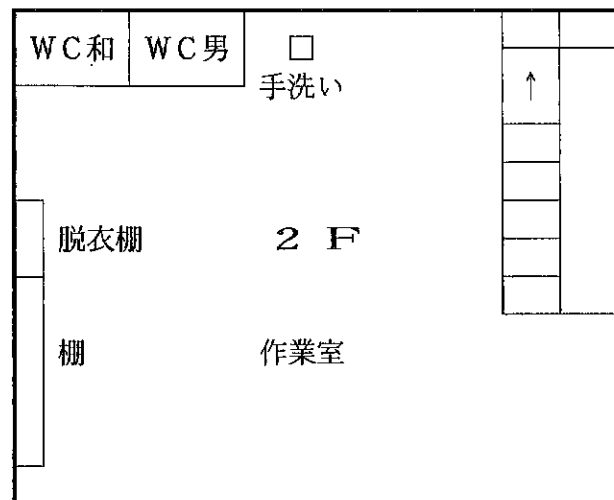
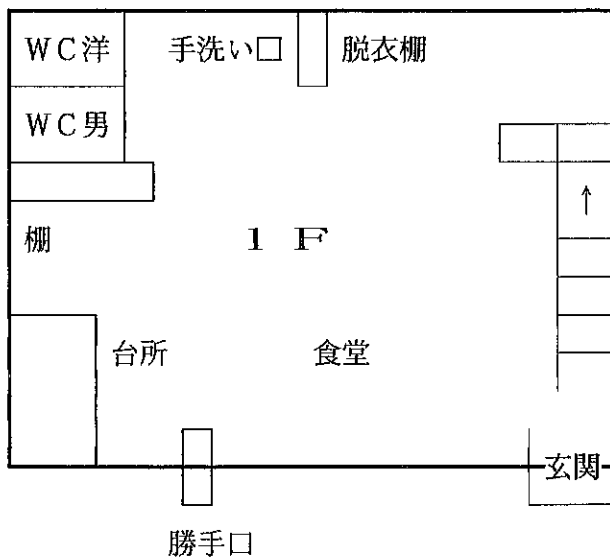
(現在区画整理の為、番地変更 平野南3-11-35)

- ・プレハブ2F建て 敷地面積 165.28m²
 延床面積 95 m²
 1F 47.5 m²
 2F 47.5 m²



・昭和58年 倉庫完成 1F横 約23m²

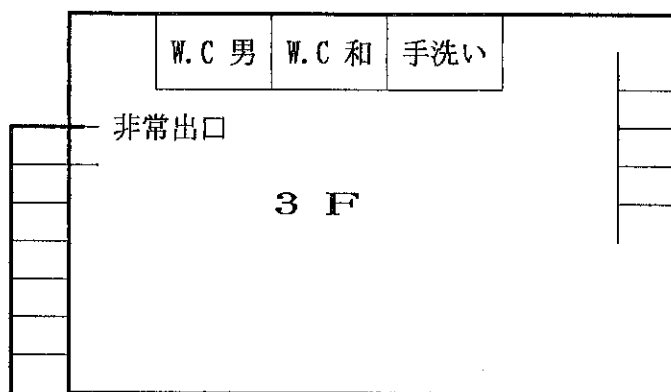
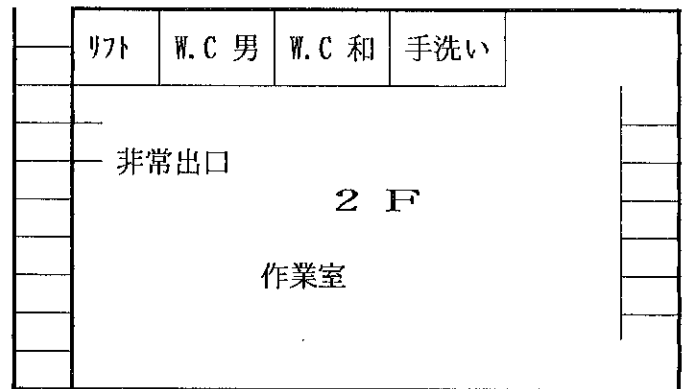
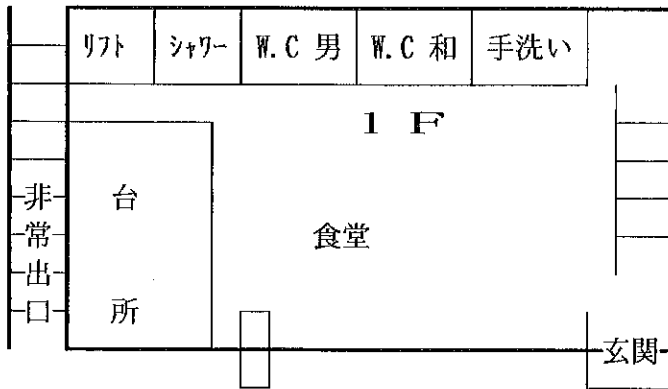
- ・昭和59年 増築 延床面積 145.8m²
 1F 64.8m²
 2F 81 m²



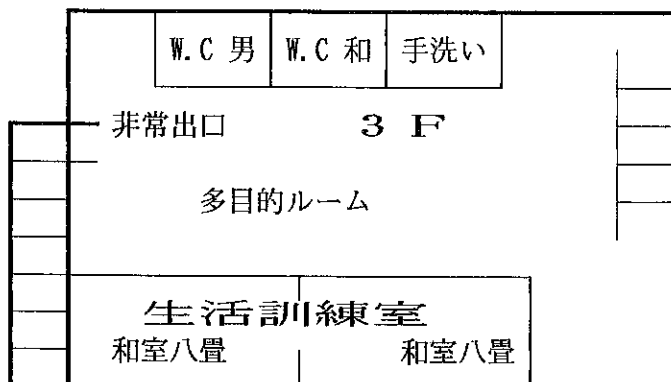
・平成2年 火災後再建

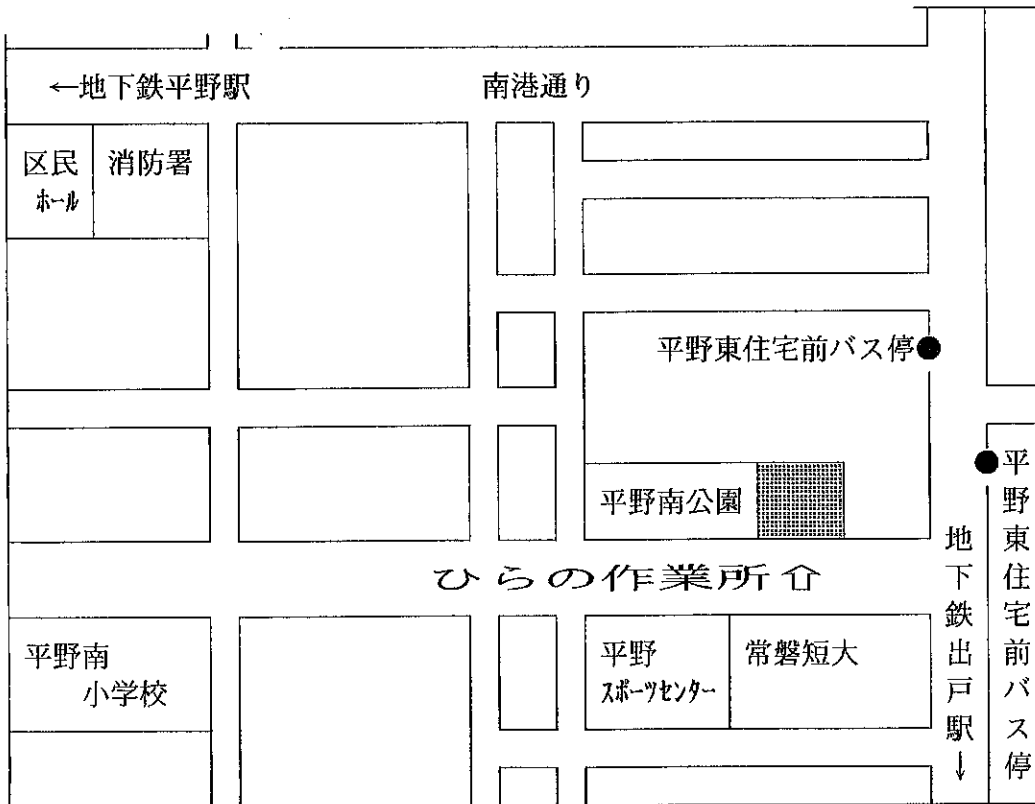
鉄骨3階建て 延床面積 331m²
1F 103m²

2F 114m²
3F 114m²

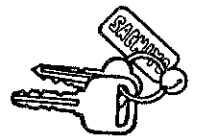


・平成5年 3Fに生活訓練室増室





障害の重い 彼らの暮らし



親の手による、重い障害をもつ人たちの二つの小規模作業所が、一昨年、あい次いで直属のグループホームを開きました。共に長い年月を経て、病弱や高齢のゆえに子どもを家庭では守れなくなった仲間のために、苦業を共にした人々が互いに資金を持ちよって始めたのです。私も「地域生活支援センター」はこれをバックアップしています。

センターに直属するグループホームとは異なる、独自の趣きがここには見られます。一つは、温かく包まれるような安らぎでしょう。日常的な介助が必要な人たちのために、世話人さんが起居をともにしているからです。また、親たちの眼が絶えずそばにあるからです。そして一つは、ゆるやかな時の流れでしょう。少数のゆえに、競い合うような、押しつけられるようなせわしさがありません。また、長く共に育ち合った親しさが、ひとつ屋根の下にあるからです。地域の小さな暮らしの様々な利点が、ここに生きています。

もう一つ特異なのは、自力で作業所を長く続ける中で育て上げた、親たちの強い信頼と結束でしょう。ホームに生活する人たちを、他の親たちも世話人といっしょになつて、交互に支えています。財政面ばかりではない、親の自在な互助機能が、ここに生きています。そこでは、必要なときに必要に応じて、他の親たちも自分の子どもをホームに託せます。そこに生活する者にとつて、一夜の客は決して迷惑な見知らぬ他人ではありません。日ごろの親しい仲間です。団らんの輪が、また一回り大きくなるでしょう。互いに相見合う、グループホームとレスパイトケアとの奇妙な合体です。センターの支援者たちは、少し距離をおいて、二つのこのユニークな試みを見守っています。(山川)

グループホーム

そのはじめ

「グループホーム藍」は、「平野作業所」が平成十年一月に平野区背戸口のマンションを借りてスタートしました。そして昨年十二月には、平野区喜連に一戸建て家屋を購入、エレベーター設置を含めた増築工事を行い、移転しました。

建物は二階建て。一階は浴室、食堂、厨房、トイレなどがあり、二階は居室が四部屋とトイレが設けられています。



親亡き後など、家庭で介護を受けることができなくなった時、現在の生活様式を大きく変化させることなく、地域での生活を継続させていけるシステムづくり

を目指して、平野作業所のグループホーム事業は運営されています。

個人の色に合わせる

ホームの随所に、そのための配慮がされています。例えば、居室は一部屋ごとに冷暖房が取り付けてあります。ふすまで仕切つてある部屋なので、一つで十分間に合うのですが、人それぞれによつて温度の感じ方が違うために一部屋ごとに設置したそうです。

また、テーブルに座つて食事をしてきた人もいれば、座卓に座つて食べてきた人もいるので、それにも対応できるように、テーブルと座卓の両方が用意されています。

このように、今までの生活様式をあまり変えることなく生活できるので、利用者の方も安心して暮らせるのかもしれない。人は皆、それぞれ違った生活習慣を持っていきます。グループホームの良さは、そうした個人個人の色に合わせることに

ができるというところにあるのでしよう。

さまざまな援助

入居者は五名、内一名は身体に障害のある方です。そして、平野作業所に通っている全員に同じ経験ができるように、メンパールの誰もがホームを利用することができます。

世話人は二名で夕方四時から翌朝十時まで勤務しています。発作が起こつた場合や、夜間のトイレの付添いなどに備えて、寝るときも一部屋ずつ分かれて入居者と一緒に寝ています。

また、三時から六時までには、入居者の方が作業所から戻ってきたあと夕食までの間を楽しく過ごせるように、紙粘土づくりなどへ遊びを援助する方が毎日来ています。さらに、男性の入浴介護のための男性スタッフが入浴の時間に来ています。

入居者の皆さんは、ここから作業所に通い、戻つてきてからは、世話人といっしょに夕食作りや入浴、洗濯物の整理などをしたり、テレビを見るなどして思い思いに過ごします。

日中活動紹介

一日の流れ

～ 9:30	登所・更衣
9:30～10:00	体操・散歩
10:00～10:15	朝の会
10:15～12:00	作業
12:00～13:15	昼食・休憩
13:15～14:00	作業
14:00～14:10	体操・休憩
14:10～14:45	作業
14:45～15:00	掃除
15:00～15:50	更衣・帰り支度
15:50～16:00	終わりの会
16:00～	送迎開始

中田弘二さんが紹介します



僕はきっちり時間までに
登所してるでー。
誰やー！
遅刻してきたんー！

っと言いながら、きっちりズボンをはくのが嫌で
いつも、ズボンをずらし気味な中田くんです。

受注作業

(プラスチック製品の箱詰め)

<受注先名>

ポピープロダクツ

(大阪市)

プラスチック製品にシールを貼ったり、袋に入れたり、小箱に詰め替えたりして外箱に入れる作業です。いろいろな種類の品物があって、色もカラフルで、とてもきれいな仕事です。時々数が足らなかつたりしてやり直すこともしばしばあり、ご迷惑をかけています。

中山圭子さんが紹介します

っと言っては、ポピー
の作業に励む中山さん
です。

たくさん、仕事が
あって忙しいけど、
楽しいわー。



受注作業

(カーテンレール部品の組立作業)

大久保和成さんが紹介します

<受注先名>

(有)橋金属製作所

(八尾市)

カーテンレールの組立作業です。カーテンレールの作業は細かい作業です。小さな穴に小さなねじをはめていくのですが、小さな穴にネジを全部回すのではなく、穴から出るか出ないかで止めなければならないので、そこが難しい作業です。



僕はきっちり、最後までしめの気がおさまれへんわ!

っといつも硬〜くきっちり最後までしめる大久保くんです。

受注作業

(粗品用軍手の袋入れ作業)

角田由美子さんが紹介します

<受注先名>

徳野商会

(大阪市)

粗品用の軍手の袋入れの作業です。1組ずつ「粗品」と書かれた袋に入れ、セロテープで止めて、5袋を重ねて、上下2ヶ所を輪ゴムでまとめます。そのひとつかたまりをダンボールに48個入れて1箱完成となります。この作業の引取りは月に1度ぐらいなので、毎日ゆっくりと丁寧にやっています。



ひとつひとつ、綺麗に仕上げてまーす。

この軍手の作業は大半が角田さんの作業となって頑張っています。

受注作業

(アンブレラネイルの組立作業)

<受注先名>

大和産商

(大阪市)

アンブレラネイルの釘さしの作業です。9つの穴のあいたスポンジに平べったく丸い形の座金を重ねて釘をさしていきます。この作業は長年にわたっていただいている作業で、補助と自助具を使って誰にでもやれる、なかま達には馴染みの作業です。

吉田育子さんが紹介します



毎日、トントンとリズムよく頑張ってます。

自助具の板と木づちを使って調子のいい音を作業所内に響かせている吉田さんです。

公園清掃

ひらの作業所の隣にある平野南公園の掃除をしています。保護者も月に2回ほど清掃活動をしています。春は花見のお弁当のカラ、夏は花火の燃えカス、秋は枯葉、冬はたこ糸といった感じで年中ごみが出るので、なかま達は頑張って暑さ寒さにめげずにごみ拾いに励んでいます。みんなの公園だからごみ箱に入れ、犬の糞は後始末もきちんとしてきれいな公園を保ってほしいものですね。

谷村誠司さんが紹介します



ゴミはゴミ箱に入れなあかんでー！

っというように嫌々ながらもひとつひとつ、ゴミを拾ってくれている谷村くんです。

朝の会・終わりの会

<朝の会>

何月何日何曜日？ 天気は？
今日のお休みは？の確認をみんなで行い、出勤簿を名前を呼びながらつけています。そして「ちれー」の掛け声で作業開始です。

<終わりの会>

送迎の時間10分前になると始まります。連絡帳入れた？みだしなみはOK？忘れ物はないですか？みんな大きな○で答えて「さよーなら！」のあいさつをして終わりです。

寒川智恵美さんが紹介します



朝はとっても弱い寒川さんで、朝の会の時、「今日は何時頃来るかな？」っとみんなで、首をかしげています。

なかま会の各係り

毎月第4金曜日になかま会を行っています。その中で毎月、なかまの当番を決めています。

あいさつ係・・・あいさつの号令をかけます。

いただきます係・・・昼食時のいただきますの声かけをします。

お茶係・・・朝の体操後と、3時のおやつのお茶を用意します。

給料係・・・なかま給料のお金を銀行にいったおろしたり、給料袋に仕分けたりします。

それぞれの係りは立候補を尊重し、なければ推薦し多数決で決めます。どの係りも全員の名前が出て多数決で決まることがほとんどです。

中川行弘さんが紹介します



っというように他のなかまをいろいろと推薦するのですが、自分の名前がでると「結構！結構！」と係になるのを嫌がっている中川くんです。

給食づくり

毎月1回はあたる給食作りです。なかま3名と援助者1名の組み合わせでその日のメニューを考え、スーパーへ買い物に行き、調理し、配膳し、後片づけを行います。慣れない包丁を使って材料をきったり、器用にスライスしたり、きれいに盛り付けたりと奮闘しています。援助者は毎回何を作るかで頭を悩ませています。保護者も3名ずつ、月に4回給食作りを行っています。

給食作りがとっても大好きな田村さんです。

田村恵津子さんが紹介します



なかま給料

毎月第2金曜日は給料日です。なかま給料は、各自、出勤日数によって計算し、各作業の工賃を合算したのから全員の金額を引いて残金があれば、人数で割って、それぞれ足してその月の給料となります。毎日、なかまそれぞれが一生懸命に頑張っって仕上げ、いただいた工賃はとてもわずかですが、楽しみにしているなかまの顔を見ると救われます。「金額」ではなく「働いた結果お金をもらう」ということがとても大切なんだと感じます。

宮田あゆみさんが紹介します

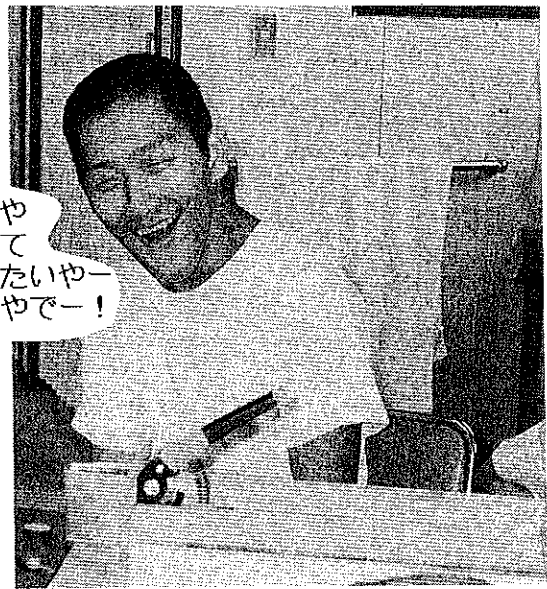


っというように、いつもタオルを持って離さない宮田さんです。

誕生日会

毎月第4金曜日、なかま会の後に、その月の誕生日の人を祝う誕生日会が行われます。黒板に名前と誕生日を書き、みんながテーブルに集まって、買って来たケーキやドーナツ、時には自分たちで作ったおやつ、ジュースを並べて、Happy Birthday to youを歌った後、みんなでおしくいただきます。時にはフライングをして先に食べてしまう人もいますが。

おいしいケーキや
ドーナツが食べれて
毎月、誕生日みたいやー
僕の誕生日は2月やでー！



誕生日会の時は黒板にその月の誕生日の人の名前を書いてくれる曹くんです。

リサイクル活動

各家で集めたり、また地域の方々にも協力をしていただいて、アルミ缶、牛乳パックを集め、まとめて環境事業局へ車で持っていき、引き換えにいただいた図書券をなかま給料の一部に加えています。又、バザーのための物品などもなかまたちと一緒に回収していました。このときの車でのお出かけをなかまたちはすごく楽しみにしていて、ついでにドライブに出かけたりもしています。

新家康治さんが紹介します



車に空き缶積んで、
環境事業局に持って
行くのが楽しみやねん！

っと言いながら、ドライブ目的で空き缶を持って行くことを楽しみにしている新家くんです。

春の行事

春の行事としては、お花見があります。毎年いろいろなところに行き、いろいろな花などを眺め楽しんでいきます。又親子での一泊旅行に出かけたりもします。今年は小豆島と淡路の花博に出かけ、いろいろなところを見物したりしてきました。

道下良子さんが紹介します



〇〇さん、結婚してるの？
彼女はいてるの？
教えてー！

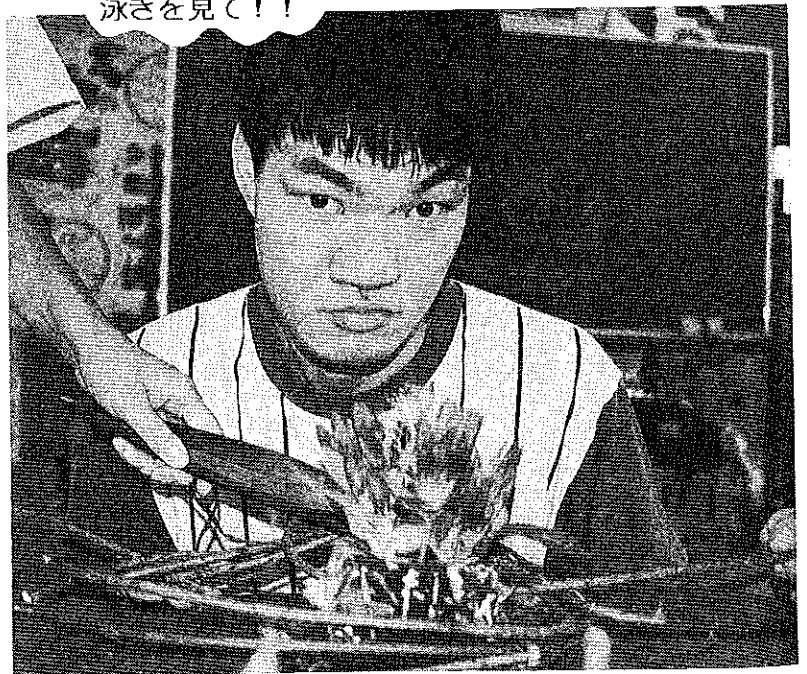
っという感じで
新しい人が来る
度に、色々と気
になって尋ねて
くる道下さんで
です。

夏の行事

夏にはデイキャンプを行います。今年には舞洲にて行われました。保護者に協力をいただいて、バーベキューなどして、屋外での食事を楽しみ、又初夏の気持ちいい風にあたりながら海を眺めました。そのほかには、プール活動として、長居のスポーツセンターへ週一回程度行き、みんなで水泳を行います。多くの援助者についていただき、なかまたちも安心して、気持ちよさそうに楽しんでいます。

保田徳次さんが紹介します

今日はプール
に入る日だー。
やったー、僕の
泳ぎを見て！！



っという感じで
行事の前からそ
の事がすごく気
になっている、
保田くんです。

秋の行事

秋にはスポーツフェスタに参加し、いろいろな競技に参加したり、障害者登山や、育成会の運動会に参加して、親子一緒に運動を楽しんでいます。綱引きやパン食い競争、たまいれとみんな楽しく、張り切って頑張っていました。又育成会の全国大会にも参加し、保護者が分科会に参加している間、なかまたちはみかん狩りなども楽しみました。その他、生野養護学校の学芸会を見学したりもしました。今年は、紅葉狩りにも出かけます。

冬の行事

冬には、ミュージカルを鑑賞したりします。またおもちつき、忘年会に新年会、お正月大会と、年末年始には行事がめじろおしです。又節分にはみんなで巻き寿司を作り、バレンタインデーにはチョコなども作ります。あと、合同文化祭に向けてみんなで出し物の練習などにも励んでいます。

西尾孝さんが紹介します

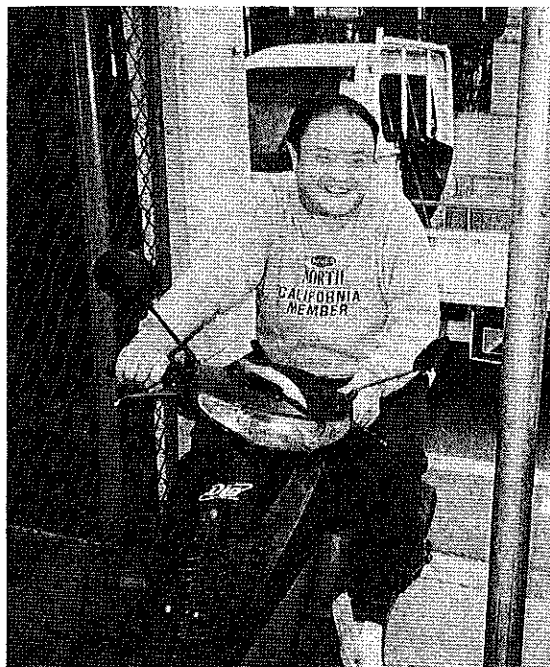
僕は走ったら早いんでー。
みんなついてこれるかな？
わっー！追いついてきたー。
あーこわかった・・・

周りの様子をよく見ていてお出かけするのがわかると真っ先に車に乗り込む西尾くんです。



岩橋嘉和さんが紹介します

さあ！服着替えたし、バイクにでも乗るかー。
バイク！、バイクー！



っと言いながら、指導員のバイクに暑い日も寒い日もバイクにまたがっている、乗り物好きの岩橋くんです。

創作活動

毎月第三土曜日にひらのサポートネットのご協力を得て、創作活動を取り入れています。絵やクラフト、生け花に挑戦したり、紙芝居などを楽しんだり、音楽療法の講師をお招きしていろいろな楽器や音楽を楽しんだりしています。なかまたちも普段の作業中とは違う顔を見せ、いろいろな趣味に合ったことができるために、真剣に打ち込んでいます。

江見洋史さんが紹介します



みんなこっち見てないな!?
水飲もうっかなー。
やっぱり3階でテレビ
見よっと!

っという感じで
スキを見ては他の
所へ行こうと
する江見くん
です。

散歩の会

散歩の会も月に1回ひらのサポートネットの声かけにより開いております。なかま数名が援助者と共に通常の作業を離れ、地元平野のいろいろなところにバスや徒歩で訪れ、平野の良いところを再認識する会です。普段は作業所で生活する分には、作業所と家の往復になることも多いので、運動不足を解消し、又昔からの平野の文化にも触れられるので、すごく為になります。

塩入信子さんが紹介します



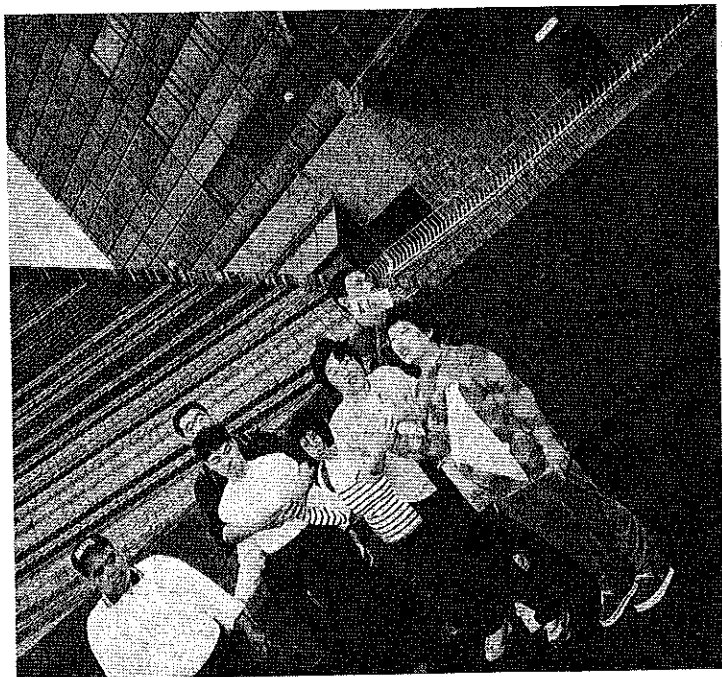
みんな、ちょっと
しっかりしいや!
〇〇くん、
そんなんやったら
あかんやん。お母ちゃん
に言うでー!!

っという感じで、作業を仕切る
塩入さんです。
朝のうちは、元気なのですが、
午後になると疲れてくるようです。

宿泊訓練

全員で紹介します

年に一度、2泊3日程度で予定し、親元を完全に離れて生活する訓練として、なかまと指導員、多くの援助者で宿泊を行います。今年は舞洲にて行われました。普段は作業所が終われば家に帰り、親と一緒に居るのが当たり前のなかまたちにとっては重要な経験となり、また指導員、援助者の方々にとっては試練の間でもございます。とはいってもみんな楽しく参加しています。今年は初日にはプールに入り、ボーリング大会などを開き、二日目には小グループに分かれていろいろなところに交通機関を使い出かけて、夜には花火大会もしました。最終日にはいつもは作業所で行っている、創作活動も少し違った雰囲気で行えました。指導員や援助者にとっても、普段は見れない家に帰ってからの生活に触れることができいろいろと勉強になりました。



2000年10月 宿泊訓練にて

なかまカレンダー 11月号 (予定)

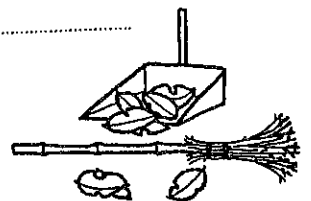


日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1 送迎なし 給食費精算 保護者手作り 職員編	2 2:00 おやすみ	3 おやすみ	4 おやすみ(野山のお散歩) 拡大役員会
5 おやすみ	6 (朝: 3:00) おべんとう 保護者公園清掃	7	8 おやすみ(野山のお散歩)	9 3:00 おやすみ	10 おやすみ(野山のお散歩) なかま会会報	11 育成会全国大会in奈良 am8:00集会am8:15開演
12 おやすみ	13 3:00 代休	14 3:00 おやすみ	15 3:00 おやすみ(野山のお散歩)	16 3:00 おやすみ	17 舞洲運動会 am8:45集会am9:00開演	18 3:00 おやすみ(野山のお散歩) 創作活動(材料)
19 常磐学園祭 障害者登山	20 (朝: 3:00) 代休	21	22 おやすみ(野山のお散歩)	23 3:00 おやすみ	24 3:00 なかま会&誕生日会	25 休所日
26 おやすみ	27 3:00 おべんとう 保護者会 保護者公園清掃	28 おやすみ(野山のお散歩) 全興寺出店	29 3:00 おやすみ(野山のお散歩)	30 3:00 おやすみ(野山のお散歩)	12/1	12/2
12/3	12/4 日産チャリティー ミュージカル (万博ホール)					

親子レク・紅葉狩りについて
22日(水)の実施と決定いたしましたので、当初予定しておりました6日(月)は平常作業日となります。

なかま会係

- お茶 ⇒ 保田・谷村・角田
- いただきます ⇒ 寒川・中山・曹
- あいさつ ⇒ 塩入・岩橋・中川
- 給料 ⇒ 田村・江見・新家



メッセーヅ

保護者からの声

谷村 夫佐子

多くの方々のご支援のもとに20周年を迎えることが出来ましたこと、感謝をこめてお礼申し上げます。あんなことも、こんなこともあったかと回想する今、作業所への理解を広げるために、バザー出店・廃品回収等、様々な行事に追われる日々もありましたが、宿泊訓練・親子レクレーション等、未知への挑戦を沢山させて頂き楽しい思い出でも一杯出来ました。又入所19年の間には私の入院、最近には父親の緊急入院等、大変な危機を乗り越えることが出来ましたのもひとえに職員の方々の暖かい援助の賜物と感謝の気持ちで一杯です。そしてひらの作業所、グループホーム藍の運営進行に長年携わって下さったおかげで今日を迎えられたことを保田所長様には深く感謝し、お礼申し上げます。これからもひらの作業所が更に発展いたしますように頑張ってくださいと思っています。

大久保 啓子

学校を卒業して、作業所という所は夏休みに1週間実習させてもらいました。入所してすぐにバザーの個別訪問でとまどいました。先輩のお母さん達に教えて頂き足手まといにならないように思っている、なかなか言葉が出せなくて困りました。

子供の事で悩んでいるときにあるお母さんから助けてもらい、作業所を辞めなくてよかったと思っています。そのお母さんとの関わりがなかったら本当に私はだめになって行ったと思います。

振り返れば中ノ島の出店、大学祭にと日曜日ごとのバザーの出店も懐かしい思い出です。今はバザーもないし本当にありがたいと思っています。作業所も色々な事で変わっていくと思いますが、これからも頑張っていきたいと思っています。20周年おめでとうございます。

塩入 久

養護学校を卒業した人、中には重度障害で在宅で余儀なくしている人、その人達のために平野の親達が立ち上がろうと、保田さんをはじめとする多くの親達の力で、小さいけど文化住宅が有りましたので借りひらの作業所が出来ました。運営資金の足しにするため多くの人達と毎日近くの八百屋さんやジャスコさんへダンボールをリヤカーで引き頑張りました。毎週日曜日には平野周辺をお父さん方の車で、新聞・古着を集めにまわられました。その中でも「お母ちゃん頑張ろうな！」と声をかけてくれる方が保田さん(今の所長さん)でした。子供達も入所してくれる子がたくさんおります。文化住宅では狭くもう少し広いところがほしいと探していました。その頃何人の先生もやめられ、次に来てくださったのが身長のごく高い方、それが今の先生の杉浦さんでした。とっても子供達にはやさしく女の子達の人気者でした。当時大阪市の土地が空いているのを市議員のお力で貸していただく事に成り、今の現在の作業所へ通うことに成りとてもしあわせでした。バザーもジャスコ・イズミヤと売らして頂き運営資金に成りみんなで頑張りました。ようやく軌道

に乗り喜んでいる矢先、ひらの作業所が不審火に見舞われ全焼しました。せっかく所長さんはじめ皆様の築き上がった作業所、ショックで忘れることが出来ませんでした。その後、市・府・地域の皆様のおかげで新しい作業所が建てかえられました。一番ご苦労されたのが所長さんでした。ジャスコさん・イズミヤさんの前でのバザーも年数を重ねるたびに売上も高くなりありがたく思っています。何年～何十年が夢のように流れ、気が付くと親も年をとり、子供達も高年齢となり今まで以上に元気で過ごさなければと思います。20周年にあたり所長さんをはじめとする役員・先生方々に厚くお礼申し上げます。力の未熟な私達を末長くよろしく願い申し上げます。健康の続く限りまえむきに頑張っていきたいと思えます。皆々様ありがとうございました。

中田 ふみ

設立20周年おめでとうございます。

小さな文化住宅から出発したひらの作業所も、20年を経た今は立派な3階建ての作業所となりました。その間喜びや悲しみ、嬉しかったことやつらいことも数え切れない程ありました。

20年と言えば、親子共に老齢化しています。これから先のことを思うと心も痛みますが、ともあれ今日迄作業所を支えてくださった所長、指導員の方、後援会の皆さん、ボランティアの人々本当にありがとうございました。今後共よろしく願い致します。

山岸 カジエ

20周年を迎えられ本当におめでとうございます。こうして共に迎えられたことを有り難い事と感謝しております。今日に至るまでにはたくさんのお出来事があり、たくさんの方々のご尽力によりここまでやってこれたと思えます。本当に有難うございます。

廃品回収やバザー出店など、保護者同志、力を合わせやってきましたが、20年も経つと親も子も高齢となり、身動きできなくなって参りました。これからは「老い」という問題を掲げ試行錯誤しながら、発展してゆくことを願っております。

保田 菊江

20周年を迎えてのメッセージとの事、お世話になって18年近くになります。本当に長くひとつの施設で息子もよく頑張ったとの思いが私の心に広がりました。施設側からにしても大変なことと思えます。なぜ他の施設に変わらずにおられたのは、子供の変化に伴って話を聞いていただけたことが私達親子が頑張れたと思えます。これからも所員生を第一にと考えていただける施設を守ってほしい思いです。長年施設を支えてくださった所長・役員の方々・指導員、そして地域からの援助者、皆様ありがとうございました。又、この変化の著しい時代におしつぶされることなく、新しい21世紀にむかった施設になりますよう願ってやみません。最後に20周年を迎えられた事に心からお祝い申し上げます。

西尾 富士子

20周年おめでとうございます。住之江養護学校高等部、昭和59年3月卒業、4月よりひらの作業所に通所出来る事になりました。

通所して16年数ヶ月、長い年月には色々な事が有りました。うれしかった事、楽しかったこと、悲しかったこと、御迷惑をおかけした事などいろいろ思い出されます。親子共、元気で今後も頑張りたいと思います。

作業所関係者の皆様、長年お世話になっております。今後とも宜しくお願い致します。

中川 孝子

ひらの作業所が20年を迎えるにあたり、それと共に歩んだ道のりは、決して穏やかなものでは有りませんでした。昭和59年当所に行弘が入所させていただき、17年を過ごしました。何も判らぬまま、この17年本人は元より私も毎日楽しく通所させることが出来て感謝しています。この礼に報いるべきと、親の手作り、地域のバザー等々手広く皆様と共に協力してやってまいりました。顧みまするに、平成2年2月26日、思わぬ出来事が我々の前に起こりました。放火、全焼、思いもよらぬことでした。暫くの休所は止む得ぬことでした。しかし平野区の小学校をお借りすることができ、また一部とは言え、その場で作業が継続することが出来たことを、僅か半年の期間ですが心から喜びました。この間テレビ、新聞、マスコミの力で全国から多数の援助を頂き、また地域の皆様方にも数多くのお見舞いを賜りました。そして3階建ての立派な作業所が完成致しました。

平成10年には「グループホーム藍」も完成してお世話になっております。これからもこの「藍」を皆様方と一緒に利用させて頂きたいと思っております。

これからも、皆様方の協力の下に地域の方々の御支援を頂き、一つの和となり過ごしやすい環境の場を創って行きたいと思っております。更に大きな輪が広がり協力と絆が結ばれ、充実した日々が送れることを今から願っております。

田村 清子

ひらの作業所20周年おめでとうございます。光陰矢のごとし、作業所にお世話になって早や17年の歳月が過ぎました。十年一昔とよく云いますが記憶もさだかではありません。入所した頃からずいぶん色々な行事が有りました。仲間達も親も皆若くて、元気で無我夢中で過ごしましたね。

平成2年作業所が全焼と…随分ショックを受け、一時は大和川の小学校をお借りして通所…各作業所、地域の皆様に協力して頂き、おかげさまで新しい建物もできました。その後もみんなで一生懸命、色々な行事に取り組み頑張った様に思います。でも親も子も少し年を重ねましたが、これからも皆さんに支えられ頑張っていくつもりです。

ひらの作業所の発展を心から祈ります。所長はじめ指導員、役員の皆さんありがとうございます。

中山 真一

ひらの作業所創立20周年を迎え、一言20年とは言っても過去には火災による全焼という悲劇に見舞われ、様々な苦勞を乗り越え今の作業所があり、仲間達が毎日伸び伸びと楽しくお世話になられていることは、歴代の役員、保護者の方々のご苦勞と頑張りの賜物と今お世話になっている親の一人として、有り難く感謝しております。

私個人のこととなりますが、平成9年5月平素は全く健在であった、妻が突然病に倒れ、わずか半年もたたぬ間に他界され、まさか自分がこんな目に会うとは夢にも想像も出来ず、一挙に泥沼に突き落とされた感で、路頭に迷っていたときにいち早く、入院中から保護者の皆さん、指導員の方々から救いの手を差し伸べてくだされ、暖かい励ましの言葉により、その間、娘圭子も作業所を休むことなく今日までやって来れたこと、とりわけ保護者の皆さんには、それぞれのご家族のお世話に精一杯のところ、私たち親子のためにご援助頂けたことに深く感謝し、自分の生涯の思い出とさせていただきます。これからは私も老骨にむち打って、保護者の皆さんの足手まといにならぬよう努めて参りたいと思っています。

今後はひらの作業所の組織が如何に変化しようと、20年の間に培われた助け合いのよき伝統を守り続けて行かなくてはと願っております。

吉田 扶美子

ひらの作業所も創立以来20周年を迎えました。私達親子が入所したのは昭和60年4月で学校時代と違って様々な経験をしました。毎月の廃品回収から始まって年に2回のバザー、個別訪問、模擬店、週1回の手作り、給食作りと驚きの連続でした。子供はお茶の時間になるとお茶をひっくり返したり給食時間になると床に食事をこぼしたりして指導員様を困らせたり、自分の気に入らないことがあったら動かないし親も子供もたくさんの悩みを抱えました。幸いにもよきお友達にも恵まれていろいろと話を聞いていただき、自分だけでは解決できないときなど相談にのっていただき勇気づけられました。でも今はお友達の一人は亡くなられ淋しくなりました。

平成2年2月26日に作業所も火災に遭い、大変な時期を迎えましたが皆様の善意と御協力のおかげで20周年を迎えることが出来ました。保護者や仲間の年齢も高くなっていき、時代と共に作業所の行事も少なくなっていき今は保護者も楽になりました。これまでの15年を振り返って苦しかったこと、楽しかったことが思い出されますが、健康に気をつけてこれからも子供と一緒に歩みたいと思います。

寒川 栄子

20周年おめでとうございます。

振り返ると入所当時は仲間が安心して居れる作業所作りの為に、バザー、手作り、色々と忙しく、所長さんをはじめ指導員、保護者とみんなで頑張ってきたことが思い出されず。おかげ様で今では居心地のよい作業所で安心して子供も通わせて頂いております。

これからもいつまでも作業所が発展してくれることを心より願っております。

岩橋 君江

ひらの作業所20年を迎えられおめでとうございます。お陰様で息子も入所させていただき14年目になろうとしています。入所したとき子供の為にと頑張っておられる保護者の方たち、活発で行事のあるたびに一致団結されすごいパワーだと感心させられました。私も保護者の一員として共に頑張ろうと思った矢先に作業所が火事になり、そのときは沢山の人々に助けられ今では仲間も元気に作業に励んでおります。又いろいろな行事の中、忘れられない雪山での体験が出来、なんとスキーの板を履き両腕を抱えてもらい、少しですが滑る事、Vサインで喜ぶ顔、このような経験をさせて下さった指導員さんのおかげと喜んでおります。これからも親子元気に通所出来る様に頑張っていきたいと思っております。

これからもますます発展する様に心からお祈りいたします。

宮田 幸子

娘が作業所に入ったのは、昭和61年、約15年が過ぎようとしています。その間、5ヵ月後には夫が他界、作業所の皆さんの暖かい励ましによって、毎日を夢中で過ごしてきました。幸い作業所では色々な催しがあり、苦勞もあれば楽しいこともいっぱいありました。重度の娘も仲間の足を引っ張りながらも、何とか一緒に過ごさせていただき、言葉が出たらどんなにか沢山のメッセージで書き尽くせないくらいだと思います。

入所したときの娘の様子を知っているお母さんが、チラッとと言われる娘と、現在の娘、時の流れと、作業所の沢山のかかわってこられた指導員、何にも出来ない娘を預かってもらっているのだから、その分親が頑張りますと言葉では簡単に言っても、果たして何をしてきたのでしょうか。

病気で亡くなった母親、病気のためにやめて行った人、そして何よりも沢山の人々の暖かい援助があったればこそその20年です。しかし、親亡き後の受け皿は？ 親、兄弟が病気になったら？ 等、これからの作業所としての課題は大きな大きな山のように思います。

20周年を期に、高齢化問題をも踏まえて今一度、考え直していかねばと思っております。

角田 カツ子

ひらの作業所20周年を迎えられましておめでとうございます。合わせて所長様・指導員の皆様の親身になってお世話下され親子共々ありがとうございますと言わせていただきます。子供も作業所に毎日いけるのが楽しみにしております。私も作業所で父兄の方とお話させていただき、皆様に元気をつけていただき私も子供も作業所に入れていただいたおかげで毎日毎日元気で暮らさせてもらって居ります。これからも皆様に御世話に成りますのがよろしくお願い致します。

曹 高治

早や、武鉦が平野養護学校を卒業して12年、それからひらの作業所にお世話になっております。

普通の体に生まれておれば、今ごろは私の元から離れて一人前の男として何かをしている事でしょう。現在はひらの作業所を通じて、人間としてのコミュニケーション、仲間同士の助け合い、または世の中の仕組みを勉強している。作業所というものが、学校を卒業し、親から離れて物事を考える重要な所なのである。自分自身で何もできないもどかしさ、さびしさと言うものは、年齢が重なれば重なるほど、考える要になる。親としてこのような子供、いや立派な成人した男性を、どのように導けばよいか非常に考えさせられる。人間にはそれぞれ良いところが必ずある。親の私は仕事が忙しく子供に四六時中かまっておれない。だからと言って、ほってはおけない。そこで自分の子供の長所を見つけ出し、何かの仕事を見つけ出すことである。世の中は現在非常に変わりつつある。自分の周辺を見るだけでなく、親も子も一緒になって世界を見ることである。きっと自分の子供にも、彼しかできない何かがあると思う。私は思う。何事にも積極的に考えれば必ず息子も心の扉を開くときがある。そのときが息子が仕事を見つけるときである。作業所も、私たち親も積極的に扉を開いて、ひらの作業所を明るく、楽しい作業所にしたいと思います。最後に幸福も不幸も人間はすべて心で決まる。

新家 一代

20周年を迎え、お喜び申し上げます。

当作業所へ最初に見学に来ましたのは高等部2年の時で、薄暗い文化住宅でしたが、通所できたらと思っていました。その後保田所長となり、卒業と同時にすんなり入所させて頂きました。通所を始めてすぐに八尾養護学校より連絡が入り、実習のつもりで行った大阪サービスに、正社員として14年近く在職できました。働く能力などないのに、本当に運の良い弟でした。その間籍がないのにもかかわらず何度か行事にも誘っていただきました。

体力、能力とも限界が来て働けなくなった為、保田さんに相談したところ、即入所させて頂き、弟に笑顔と言葉が戻りました。再入所してまだ3年足らずですが、仲間中心に行事が組まれていて、毎日楽しく通所しております。

江見 雅枝

ひらの作業所創立20周年おめでとうございます。

今年5月から正式入所したニューフェイスです。

親が子のために動くには、この時機しかないと思われ、所長にお願いして、入れていただきました。今まで、子供がより楽しく生きていくためにいろいろと共に頑張ってきましたが、将来に向けての自立には、今が最適の時ではないかと思ひ、決断しました。今を楽しく生きていくことも大切ですが、将来の幸せも考えると、今後どう動いていくことが必要なのかを、共に考えていける場を与えてもらったことを感謝しております。

子供の自立、重度障害のある息子にとっての自立は、多くの人々の援助なしには考えら

れませんが、援助する人も援助される人も、共に安心できる場とともに、生きがい—生きる喜びを持てるようなシステム作りをすることが、自立を実現する一歩になるのではないかと思います。

このひらの作業所で、地域の人たちと共に幸せを求めて、頑張っていけたらと思っています。新しい場所にもかかわらず、仲間の方たちに温かく見守られ、また旅行や宿泊なども体験させていただき、パニックもおこすことなく、楽しく通っております息子を見ると、「僕も自立の準備をしているよ」と言っているように思えます。さあ、もう一頑張りしましょうかと息子にはなしかけているこのごろです。ひらの作業所が地域に根づき、ますます発展していくことを祈ります。

地域からの声

今、生きていることの共感

ひらのサポートネット 事務局 川口 良仁

「ひらの作業所」開設20周年おめでとうございます。開設より今日にいたるまでの役員、父母会、指導員、ボランティアの方々の並々ならぬご努力に対しまして敬意を表します。私たち「ひらのサポートネット」は1998年に、<仏教ボランティアおおさか>と<ひらの作業所>とで共催されました「援助者養成講座」の受講生によって結成されました。私たちは現在、大きく分ければ次のような3つの柱で作業所のお手伝いをさせていただいています。

(1) 作業所の日常生活のサポート

5名の女性陣が月曜日から金曜日までの5日間、ローテーションを組んで作業所の生活や作業をお手伝いしています。

(2) 散歩の会

季節の良い時節に、月に一度、地元平野の町を散策して、町の食堂でお昼ご飯を食べます。

(3) 創作活動

月2回程度、絵などのアート作品や楽器などを作ってみんなで楽しみ遊びます。今年は紙芝居のグループや音楽療法士の方にもお願いしていますが、これからもいろいろな分野の方々にもご協力いただいて活動を広げていきたいと思えます。

「平野サポートネット」の出発点は文字通り障害がある方々の生活をサポートするということでした。しかしながら、この2年間の活動を振り返って感じますことは、支援する側と支援される側の間には区別や差別があるのではなく、その場には「今、ここに共に生きているという響き合う共感」が流れているということでした。終わろうとしている20世紀は物の豊かさは実現されましたが、その反面、自然と人間、人間と人間の絆が切れ切れになってしまった時代でもありました。新しく迎える世紀はこれらの結びつきをもう一度生き生きと、取り戻して行かなければならない時代であるといわれています。

私たちは、活動を通じて実感するこの響き合いを根底において、障害のある人と障害のない人が、楽しく、学び、遊び、喜べる共同体づくりができればよいなあという希望を持っています。

指導員からの声

杉浦 彰治

今、手元にあるのは、ひらの作業所の一周年記念誌「作業所鉄道1981」です。私自身は、この記念誌が発行された昭和56年9月より、指導員という立場で関わらせていただいています。長くもあり、短くもあり、... 指導員としての役割がどれほどまでに果たせたのか、日々、自分自身に問いかける19年でもあったかと思えます。

その1周年記念誌の最初のページには「一緒に考え協力しあい、その輪を大きくしよう」と記され、当時の11人のメンバーの紹介もされています。養護学校等を卒業されて入所された方が大半でしたが、就学猶予により教育を受ける機会を与えられず、30数年の在宅生活を続けてこられた後に入所された方も数名おられました。そして現在、3名の方が作業所への通所を継続され、他の方は入所施設、在宅、就労とさまざまな状況にあり、残念ながら1名の方は他界されました。30年の在宅生活を経て作業所に通所を始めたものの、諸事情により通所が困難となった状況から数年、「亡くなられた...」という連絡が入ったのは葬儀も終えて数日が過ぎた頃で、ご自宅に何うと遺影もなく、家の中を探してみたけれども見つからなかったとのこと。「作業所に写真が残っているならばいただきたいのだが...」との依頼に、急いで作業所に戻り、アルバムから写真を取り出し、お届けしたということもありました。そして、亡くなられた原因が、母親が入院し、父親だけでは介護が困難になり、施設入所を希望し、面接を終えての帰路に久しぶりの外出に立ち寄った先で転倒して大腿部を骨折、入院の後にさまざまな合併症を併発したことによるものでした。当時と比べれば障害のある方々を取り巻く状況は大きく変化していますが、決して他人事ではない、どのような家庭にも起こりうる現実がそこにはあります。ただ、いかにそれを乗り切るのか、どのような支援があれば、障害のある本人や家族が安心した暮らしを継続していけるのか、日中活動の場である作業所、暮らしの場であるグループホームがそれぞれの役割を果たし始めた今、次に必要なのは何なのか...。

今後、私自身が彼等とどれほどの時間を共有できるのかはわかりませんが、再び「一緒に考え協力しあい、その輪を大きくしよう」という言葉を噛みしめながら、日々の取り組みを進めていきたいと思えます。

中西 千恵子

20年という長い長い日々の中で、その半分を共に歩んできたのですが、振り返ってみれば、今まで作業所のために何をしてこれたのかと自問自答の繰り返しです。

1.0年前、初めて作業所にやってきた時は、プレハブの今にも壊れそうな2階建ての建物でした。不安な気持ちを抱きながら一步入ると、一転し、なかま達の屈託のない笑顔に迎えられ、自然に溶け込むことができました。辛い時やくやし涙を流した時、周りの人には気づかれなかったのですが、なかまだけは気づき、「どうしたん？」という表情を見せ、元気づけてくれました。なかま達の存在は、私にとってはなくてはならない大きな存在で、いつもなかまの笑顔や暖かさに救われてきました。そんななかまも歳を重ねるごとにいろんな経験をしていくことになります。もっとも大きな事は保護者との別れです。そんな時、

心の支えになれるように再度、自分を見つめ直し、なかま達にも恩返しできるように心掛けておきたいと思います。

今までにもたくさんの問題を抱えながらも、一步步進んできたように、これからも問題が出てくるたびに試行錯誤しながら、前進し続けていけたらと思います。

そして、ひらの作業所の宝物として、なかま達の「笑顔」がいつまでも残るような作業所であり続けてほしいです。

井上 真一

私がひらの作業所に来て1年ほどが経ちました。ここで勤め始めるまでは、障害者とふれあう機会がほとんどなかったために障害に対する知識がほとんどなく、1日1日が新鮮であり、また考えさせられることの連続でした。なかま達からもいろいろと学ぶことがあり、また保護者の方々・先輩指導員の指導・ボランティアの方々の手助けのおかげで迷惑をおかけしながらも続けてこれました。

作業所が今年で20周年だとのことですが作業所の設立当初からの苦労は大変なものだったと思われます。当時と今とでは、社会情勢なども違い地域の理解なども厳しく、また作業所の運営資金の捻出などにも相当な苦労があったと思われます。又作業所が全焼した時などには、今まで積み上げてきたものが一瞬で崩れ愕然としたことと思います。しかし、色々なところからのご支援にて今の作業所があるのだと理解しています。

20年が経ってなかま達も歳を重ね、以前のように体の自由もきかなくなってきました。私はまだ1年程しか作業所にはかかわっていませんが、そんななかま達の過去も大事にし、現在の状況を直視し、また未来を見据えて支えていかなければと考えます。そして社会情勢の変化にも柔軟に対応し、しっかりとしたヴィジョンを持って、なかま達が安心して通える作業所づくりに、一指導員として皆様と共に頑張っていきたいと思います。

編集後記

ひらの作業所の〈20年の歩み〉．．．平成2年の火災でその大半の資料が焼失し、それ以前の資料については不十分な箇所があることをお詫びいたします。

そして、焼け残った資料をつなぎ合わせながらの編集作業を通じて、本当に多くの方々に支えていただいて今日があることを実感し、また、その礎となった作業所の開所に至るまでの約2年間の準備期間をも加えての作業所の歩みとすべきであったろうと省みています。

さて次号、25周年誌、30周年誌の発行があるならば自分自身が果たしてその編集に関われるのか、もしくはまだ見ぬ頼もしい職員にバトンタッチしているのか．．．もしもそうならば、バトンにはさまざまなメッセージを込めて、しっかりとその手に渡していきたいと思う。とは言いながら多分なかなか渡そうともせずに、相変わらず小言を並べていることと思いますが．．．。

この記念誌が皆様のお手元に届く頃には、寒さもましていることと思います。体調等崩されないようご自愛くださいませ。そして、今後ともひらの作業所へのご支援、ご協力よろしく願いいたします。

明日にむかって

～20周年記念誌～

2000年12月5日 発行

発行者

障害者の働く場 ひらの作業所

〒547-0031 大阪市平野区平野南3-11-35

TEL 06 6799-1065

FAX 06 6799-1065

印刷・製本

三桂印刷

〒547-0034 大阪市平野区背戸口1丁目11番4号

